

平成 27 年度 大学入学者選抜

大学入試センター試験 受験案内 27

出願期間	平成 26 年 9 月 29 日(月) ～ 10 月 9 日(木) (消印有効)
試験期日	平成 27 年 1 月 17 日(土)・18 日(日)

★ 障害等のある方への受験上の配慮を希望する場合は、「出願前申請」ができます。

出願前申請受付 平成 26 年 8 月 1 日(金)～9 月 26 日(金)

はじめに【必ず読むこと！】

この冊子には、「検定料の払込みなど、大学入試センター試験の出願の際に誰もが行わなければならない重要な手続」と「受験票の再発行申請など、いざという時に必要な手続」が解説されています。出願前に必ずこの冊子を精読し、出願手続や試験の制度について十分に理解するようにしてください。

1 志望大学の利用教科・科目の確認

大学入試センター試験に参加する大学は、入学志願者が大学入試センター試験において解答すべき教科・科目やその成績の入学者選抜における取扱いなどを、それぞれ定めています。志望大学の募集要項等でそれらをよく確認して、大学入試センター試験を受験してください。

2 受験教科事前登録制

大学入試センター試験を受験するに当たっては、受験教科等について出願時に登録する必要があります。(→p.15)

登録を正しく行わないと、希望する教科等を受験することができませんので、制度の内容をよく理解した上で出願してください。

3 登録内容の確認

大学入試センターは出願書類を受理した後、確認はがき（出願受理通知）を10月27日（月）までに届くように送付します。確認はがきは、大学入試センターに出願が受理されたことを通知するとともに、志願票記入事項のうち、受験教科等の特に重要な登録内容を記載したもので、受領後は直ちに登録内容に誤りがないか確認してください。(→p.28)

万一、登録内容に誤りがある場合や、志願票への記入誤り等により登録内容の訂正が必要となった場合は、直ちに大学入試センターに届け出してください。

また、大学入試センター試験の受験票（12月15日（月）までに到着）にも登録内容を記載しますので、再度、確認してください(→p.32)。

4 障害等のある方への受験上の配慮

大学入試センター試験の受験に際し、病気・負傷や障害等のために、解答方法等について配慮を希望する場合は、受験上の配慮を申請することができます。

この受験上の配慮については、配慮内容によって審査に時間がかかる場合もあるため、出願前に申請（平成26年8月1日（金）～9月26日（金）まで）を受け付けます。受験上の配慮を希望する場合は、できるだけ出願前に申請を行ってください(→p.18)。

5 リスニングで使用するイヤホン

リスニングではイヤホンを使用します。リスニング受験希望者はイヤホンが事前に耳に合うかを確認し、イヤホンが耳の形に合わず装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、出願時にイヤホン不適合措置を申請してください(→p.46)。使用するイヤホンは、在学する（又は出身）高等学校等やセンター試験参加大学で実際に試してみることができます。なお、試験当日にイヤホンが耳に合わないと申し出ても、対応しません。

目 次

A 試験概要

1	平成 27 年度大学入試センター試験の主な変更点	2 ページ
2	平成 27 年度大学入試センター試験実施日程	4
3	出題教科・科目等	5
4	試験期日・試験時間割	8

試
験
概
要

B 出願

1	出願資格と証明書類	9
2	出願期間と出願方法等	14
3	受験教科事前登録制	15
4	障害等のある方への受験上の配慮	17
5	成績通知	19
6	志願票の記入方法	20
7	検定料及び成績通知手数料の払込方法	26

出
B
願

C 出願後

1	確認はがき（出願受理通知）～登録内容の確認	28
2	受験票・写真票・成績請求票	32
3	試験場の指定	34
4	出願後の各種手続	36
5	出願後の不慮の事故等による受験上の配慮	40

出
C
願
後

D リスニング

1	リスニングの概要	41
2	リスニング受験上の注意	41
3	リスニングの進行	42
4	ICプレーヤーの操作	43
5	ICプレーヤーの操作体験	46
6	イヤホンが装着できない場合	46
7	解答時間中の事故等と再開テスト	47

リス
ニ
ン
グ

E 試験

1	受験に当たっての主な注意事項	48
2	追試験及び再試験	52

試
E
験

F 試験実施後

1	正解・平均点等の発表	53
2	得点の調整	53
3	試験成績の大学への提供方法	54

試
験
実
施
後

G その他

1	過年度の大学入試センター試験の成績を利用する選抜	55
2	志望大学に確認すること	55
3	個人情報の取扱い	56

そ
G
の
他

H 高等学校等コード表

1	高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校	57
2	高等学校卒業程度認定試験等、外国の学校等、文部科学大臣の指定した者、認定，在外教育施設、専修学校の高等課程	74

等
H
高
等
学
校
等
コ
ド
表

A 試験概要

1 平成27年度大学入試センター試験の主な変更点

(1) 高等学校学習指導要領の改訂に対応した出題科目

高等学校では新しい学習指導要領に基づいて編成された新教育課程の数学と理科の授業が行われています。これを受け平成27年度大学入試センター試験から、数学と理科において新教育課程に基づいて試験問題を出題します。ただし、平成27年度大学入試センター試験に限り、高等学校卒業者等の旧教育課程履修者のうち希望者に対しては、旧教育課程により出題する科目を受験することができる経過措置を講じます。

このため、履修した教育課程によって受験できる科目が異なりますので、志願者は自分が新・旧いずれの教育課程の履修者に該当するかを次の(2)で必ず確認した上で出願してください。

(2) 「新教育課程履修者」と「旧教育課程履修者」

新教育課程履修者 (数学、理科)	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に平成24年4月に入學し、数学、理科に関し新教育課程を履修し、平成27年3月卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に平成24年4月に進級し、数学、理科に関し新教育課程を履修し、平成27年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者 * 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を平成27年3月卒業見込みであるが、入学は平成24年3月以前の者など、上記に該当しない者

なお、この受験案内では主な用語について、次のように略記します。

- ・ 平成21年3月告示高等学校学習指導要領に基づいて編成された教育課程（新教育課程）・・・新課程
- ・ 上記以前の学習指導要領に基づいて編成された教育課程及びその他（旧教育課程）・・・旧課程
- ・ 新教育課程により出題する科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・新課程科目
- ・ 旧教育課程により出題する科目・・・・・・・・・・・・・・・・旧課程科目
- ・ 新教育課程履修者・・・・・・・・・・・・・・・・新課程履修者
- ・ 旧教育課程履修者・・・・・・・・・・・・・・・・旧課程履修者

(3) 時間割

理科の試験時間は2つに分かれます。（理科①と理科②）

(4) 数学の登録方法及び試験実施方法

ア 登録方法

出願時は「数学」の受験の有無を登録します。

「数学」を「受験する」と登録した場合、試験当日は数学①と数学②の両方又はいずれか一方の受験ができます。

数学②で「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を受験する場合は、別冊子の配付希望を出願時に登録してください。

イ 試験実施方法

試験当日は、下表①又は②の中から受験科目を選択できます。

なお、平成26年度大学入試センター試験まで出題した「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」の各科目は、経過措置としてそれぞれ「旧数学Ⅰ」、「旧数学Ⅰ・旧数学A」、「旧数学Ⅱ・旧数学B」として出題します。

また、数学①及び数学②の問題冊子には、それぞれ旧課程科目が含まれています。新課程履修者は旧課程科目を選択できませんので、科目選択の際は注意してください。

① 新課程履修者

グループ	新課程科目	科目選択方法
数学①	「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・数学A」	左記2科目から1科目を選択
数学②	「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」	左記2科目から1科目を選択

② 旧課程履修者

グループ	新課程科目	旧課程科目	科目選択方法
数学①	「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・数学A」	「旧数学Ⅰ」 「旧数学Ⅰ・旧数学A」	左記4科目から1科目を選択
数学②	「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」	「旧数学Ⅱ・旧数学B」	左記3科目から1科目を選択

注 旧課程履修者は、グループごとに新・旧いずれかの教育課程の科目の中から1科目を選択できます。

(5) 理科の登録方法及び試験実施方法

ア 登録方法

下表の科目を参考にして、新課程履修者は科目選択方法a（選択方法A～D）の中から、旧課程履修者は科目選択方法a及びb（選択方法A～D, H, K）の中から1つを選んで出願時に登録します。

グループ	新課程科目	科目選択方法 a	旧課程科目	科目選択方法 b
理科①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	A : 理科①から2科目を選択 B : 理科②（新課程科目）から1科目を選択 C : 理科①から2科目及び理科②（新課程科目）から1科目を選択		
理科②	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	D : 理科②（新課程科目）から2科目を選択	「理科総合A」 「理科総合B」 「物理Ⅰ」 「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」 「地学Ⅰ」	H : 理科②（旧課程科目）から1科目を選択 K : 理科②（旧課程科目）から2科目を選択

注1 新課程履修者は、旧課程科目を選択できません。

注2 旧課程履修者は、新課程科目と旧課程科目を組み合わせて選択することはできません。

注3 試験当日に科目選択方法を変更することはできません。

イ 試験実施方法

- ① 出願時に登録した科目選択方法にしたがって、試験当日は受験科目を選択できます。
- ② 理科①は試験時間60分で必ず2科目を選択解答します。その際、解答する科目の順序は問いません。また、解答時間（60分）の配分は自由です。

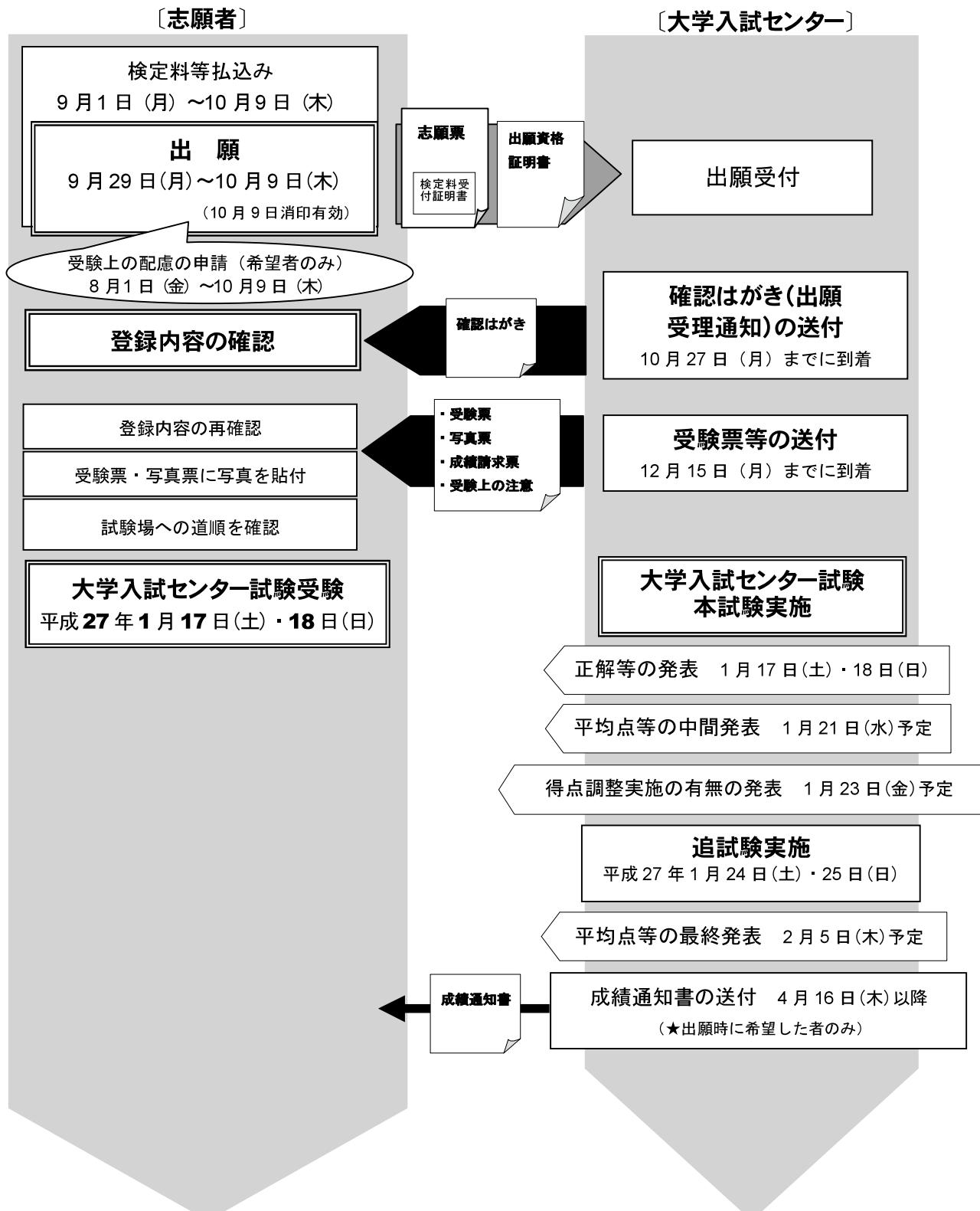
(6) リスニングで使用するICプレーヤー

平成27年度大学入試センター試験から英語リスニングで使用するICプレーヤーを更新しますので、大学入試センターのホームページ（→裏表紙）にある「ICプレーヤー操作ガイド」で、操作体験をしてください。

また、ICプレーヤー、音声メモリー及びイヤホンは試験終了後に全て回収します。

なお、試験の解答方法などは変わりません。

2 平成27年度大学入試センター試験実施日程



3 出題教科・科目等

(1) 出題教科・科目等

教 科	グルーブ	出 題 科 目 (→注 1)	出 題 方 法 等	科目選択の方法等	試験時間(配点) (→注 2)
国 語		『国 語』	「国語総合」、「国語表現Ⅰ」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章、古典（古文、漢文）を出題する。(→注 3)		80分(200点)
地理歴史		「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」「地 球 A」「地 球 B」	『倫理、政治・経済』は、「倫理」と「政治・経済」を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の 10 科目のうちから最大 2 科目を選択し、解答する。 ただし、同一名称を含む科目の組合せで 2 科目を選択することはできない。(→注 4) なお、受験する科目数は出願時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間 120 分) (200点)
		「現代社会」「倫 理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」			
数 学	①	「数学 I」「数学 I・数学 A」	『数学 I・数学 A』は、「数学 I」と「数学 A」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学 A」の 3 項目の内容のうち、2 項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔場合の数と確率、整数の性質、図形の性質〕	左記出題科目の 2 科目のうちから 1 科目を選択し、解答する。	60分(100点)
	②	「数学 II」「数学 II・数学 B」「工業数理基礎」※ 『簿記・会計』※ 『情報関係基礎』※	『数学 II・数学 B』は、「数学 II」と「数学 B」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学 B」の 3 項目の内容のうち、2 項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔数列、ベクトル、確率分布と統計的な推測〕 『簿記・会計』は、「簿記」及び「会計」を総合した出題範囲とし、「会計」については、会計の基礎、貸借対照表、損益計算書、財務諸表の活用の 4 項目の内容のうち、会計の基礎を出題する。 『情報関係基礎』は、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の 8 教科に設定されている情報に関する基礎的科目を出題範囲とする。	左記出題科目の 5 科目のうちから 1 科目を選択し、解答する。 ただし、※が付された科目の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	60分(100点)
理 科	①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」		左記出題科目の 8 科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。	【理 科 ①】 2科目選択 60分(100点) (→注 5)
	②	「物 理」「化 学」「生 物」「地 学」	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」には、一部に選択問題を配置する。	A 理科①から 2 科目 B 理科②から 1 科目 C 理科①から 2 科目及び 理科②から 1 科目 D 理科②から 2 科目 なお、受験する科目の選択方法は出願時に申し出ること。	【理 科 ②】 1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間 120 分) (200点) (→注 6)
外 国 語		『英 語』 『ド イ ツ 語』※ 『フ ラ ン ス 語』※ 『中 国 語』※ 『韓 国 語』※ (→注 7)	『英語』は、「オーラル・コミュニケーションⅠ」及び「英語Ⅰ」に加えて「オーラル・コミュニケーションⅡ」と「英語Ⅱ」に共通する事項を出題範囲とする。	左記出題科目の 5 科目のうちから 1 科目を選択し、解答する。 ただし、※が付された科目の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	【筆 記】 80分(200点) 【リスニング】 (『英語』のみ) 60分(うち解答時間 30 分) (50点)

- (注 1) 本表中において『』で記載しているものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
- (注 2) 国語及び外国語（『英語』を除く。）は、各教科について1試験時間とし、地理歴史及び公民については、合わせて1試験時間とします。数学及び理科は、①及び②の出題科目のグループごとに、外国語『英語』は、筆記とリスニングに試験時間を分けます。
- (注 3) 『国語』の出題分野別の配点は、「近代以降の文章(2問100点), 古典(古文(1問50点), 漢文(1問50点))」とします。なお、国語の出題分野のうち、大学が指定した分野のみを解答する場合でも、国語の試験時間は80分です。
- (注 4) 地理歴史及び公民の「科目選択の方法等」欄中の「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史A」と「世界史B」、「日本史A」と「日本史B」、「地理A」と「地理B」、「倫理」と『倫理, 政治・経済』及び「政治・経済」と『倫理, 政治・経済』の組合せを指します。
- (注 5) 理科①については、1科目のみの受験は認めません。
- (注 6) 地理歴史及び公民並びに理科②の試験時間において「2科目受験する」と登録した場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行いますが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え、試験時間は130分とします。
- (注 7) 外国語において『英語』を選択する受験者は、原則として、筆記とリスニングの双方を解答してください。リスニングは、音声問題を用い30分間で解答を行いますが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加え、試験時間は60分となります。
なお、『英語』以外の外国語の筆記を受験した場合、リスニングを受験することはできません。

(2) 旧課程履修者に対する経過措置

数学及び理科の2教科に関しては、平成27年度大学入試センター試験の全ての受験者は、新学習指導要領に基づく教科・科目の内容による試験を受験するのが原則ですが、旧課程履修者に対しては次ページの(3)「旧課程履修者に対する数学、理科の出題科目等」の経過措置を講じます。

旧課程履修者のうち希望する者は、この経過措置による受験ができます。

(3) 旧課程履修者に対する数学、理科の出題科目等

教 科	グ ル プ	新課程により出題する科目	旧課程により出題する科目	旧課程履修者に対する経過措置		試験時間(配 点)
				出 題 方 法	科目選択の方法等	
数 学 (→注1)	①	「数学Ⅰ」	「旧数学Ⅰ」	新課程により出題する「数学Ⅰ」に加え、旧課程による「旧数学Ⅰ」を別科目として出題する。	新課程による出題科目と旧課程による出題科目を合わせた4科目のうちから1科目を選択解答する。	60分(100点)
		「数学Ⅰ・数学A」	「旧数学Ⅰ・旧数学A」	新課程により出題する「数学Ⅰ・数学A」に加え、旧課程による「旧数学Ⅰ・旧数学A」を別科目として出題する。		
	②	「数学Ⅱ」		特に措置しない。	新課程による出題科目と旧課程による出題科目を合わせた3科目のうちから1科目を選択解答する。	60分(100点)
		「数学Ⅱ・数学B」	「旧数学Ⅱ・旧数学B」	新課程により出題する「数学Ⅱ・数学B」に加え、旧課程による「旧数学Ⅱ・旧数学B」を別科目として出題する。		
理 科 (→注2)	①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」		新課程により出題する「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」に加え、旧課程による「理科総合A」、「理科総合B」、「物理Ⅰ」、「化学Ⅰ」、「生物Ⅰ」及び「地学Ⅰ」を別科目として出題する。	次のア、イのいずれかを選択し、解答する。 ア 5ページの表中に示す新課程による出題科目の選択方法A～Dのいずれかの方法により選択解答する。	60分(100点)
	②	「物理」「化学」「生物」「地学」	「理科総合A」「理科総合B」「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」「地学Ⅰ」		イ 旧課程により出題する科目的6科目のうちから最大2科目を選択解答する。 なお、受験する科目の選択方法（上記アの場合）又は受験する科目数（上記イの場合）は出願時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点)

(注1) 旧課程履修者は、数学①と数学②において新課程科目と旧課程科目のいずれかから1科目を選択できます。

(注2) 旧課程履修者は、理科において、新・旧の異なる教育課程の科目を組み合わせて選択することはできません。

4 試験期日・試験時間割

期 日	出 題 教 科 ・ 科 目		試 験 時 間 (→注 1, 2)
平成 27 年 1月 17 日(土)	地理歴史 公 民	「世界史 A」「世界史 B」 「日本史 A」「日本史 B」 「地理 A」「地理 B」 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」	2 科目受験 9:30～11:40 (→注 3)
		「国語」	1 科目受験 10:40～11:40 (→注 3)
		「英語」「ドイツ語」「フランス語」 「中国語」「韓国語」	【筆記】 15:10～16:30
			【リスニング】 「英語」のみ 17:10～18:10
		「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	9:30～10:30 (→注 4)
	数 学 ①	「数学 I」「数学 I・数学 A」 「旧数学 I」「旧数学 I・旧数学 A」	11:20～12:20
		「数学 II」「数学 II・数学 B」 「工業数理基礎」「簿記・会計」 「情報関係基礎」 「旧数学 II・旧数学 B」	13:40～14:40
	数 学 ②	「物理」「化学」 「生物」「地学」 「理科総合 A」「理科総合 B」 「物理 I」「化学 I」 「生物 I」「地学 I」	2 科目受験 15:30～17:40 (→注 3)
			1 科目受験 16:40～17:40 (→注 3)
	理 科 ②		

(注 1) 試験室への入室時刻については、受験票 (→p.32) とともに送付する受験上の注意において指示します。

(注 2) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、リスニングは、試験開始時刻 (17:10) までに入室していない場合は受験することができません。

(注 3) 「地理歴史、公民」及び「理科②」については、登録した科目数 (1 又は 2 科目) によって試験開始時刻が異なります。「2 科目受験する」と登録した場合は、遅刻者の試験室への入室限度 (「地理歴史、公民」は 9:50、「理科②」は 15:50) までに入室しないと、後半の第 2 解答科目を含めて、その試験時間は一切受験することができません。また、第 2 解答科目の時間のみ受験することもできません。

第 1 解答科目と第 2 解答科目との間の 10 分間は、トイレ等で一時退室はできません (→p.48)。

(注 4) 「理科①」は試験時間 60 分で必ず 2 科目を選択解答してください。1 科目のみの受験はできません。

B 出願

1 出願資格と証明書類

平成 27 年度大学入試センター試験に出願できる者は大学入試センター試験に参加する大学へ入学を志願し、次表のいずれかの出願資格に該当する者です。提出が必要な資格証明書は、次表のとおりです。

* 出願資格及び出願資格を証明する書類について疑問がある場合は、出願期間の前にできるだけ早く大学入試センター事業第 1 課（→裏表紙）に問い合わせてください。特に外国の学校等の資格で出願する志願者は、出願資格の確認等に時間を要する場合がありますので、早めに問い合わせてください。

出願資格	資格証明書
「高等学校」（特別支援学校の高等部を含む。）又は「中等教育学校」を平成 27 年 3 月卒業見込みの者（→注 1）	不要（校長が一括証明）
「高等学校」（特別支援学校の高等部を含む。）又は「中等教育学校」を卒業した者	卒業証明書（原本） *出身校長が発行するもの *発行年月日は問わない。 *調査書・成績証明書は不可 *旧姓（名）の卒業証明書を使用する場合は、「婚姻により（旧姓）から（現姓）になった」などのように、姓（名）が変わった理由を証明書の余白に記載すること。
「高等専門学校」第 3 学年を修了した者又は平成 27 年 3 月修了見込みの者	第 3 学年修了若しくは修了見込みの証明書又は卒業証明書（原本） *高等専門学校長が発行するもの
外国の学校等	当該課程の修了又は修了見込みを証明する書類（Diploma）などのコピー *出身校長が発行するもの *国や学校によっては、これ以外の書類の提出を求めることがあります。
	上欄に準ずる者（→注 2-2～2-4）
在外教育施設（→注 3）	修了（卒業）又は修了（卒業）見込みの証明書（原本） *当該教育施設の長が発行するもの
専修学校の高等課程を卒業（修了）した者又は卒業見込み（修了見込み）の者（→注 4）	卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの証明書（原本） *専修学校長が発行するもの

出 B
願

出願資格	資格証明書	
文部科学大臣の指定した者 * 昭和 23 年 文部省告示	海技教育機構（旧海員学校）の本科を卒業した者又は平成 27 年 3 月卒業見込みの者 国際バカロレア資格取得者（→注 5） アビトゥア資格取得者（→注 6） バカロレア資格（フランス共和国）取得者（→注 7） 国際的な評価団体の認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者又は修了見込みの者（→注 8） その他文部科学大臣の指定した者（旧制諸学校出身者等）（→注 9）	卒業又は卒業見込みの証明書（原本） * 校長が発行するもの 資格証書のコピー ① 修了又は修了見込みの証明書（原本） ② 当該教育施設が認定を受けた証明書（原本） * いずれも当該教育施設の長が発行するもの 卒業（修了）証明書又はこれに準ずるものとのコピー
高等学校卒業程度認定試験等（問い合わせ等→注 10） * 平成 27 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するものの	高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定に合格した者 高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者 * 科目合格者のうち、合格に必要な残りの試験科目に相当する科目の単位を、高等学校等で平成 27 年 3 月 31 日までに修得見込みの者（→注 11） 平成 26 年度第 2 回高等学校卒業程度認定試験に出願している者	合格証書のコピー又は合格証明書（原本） * 合格証明書は文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課に請求し入手すること。 * 発行年月日は問わない。 高等学校卒業程度認定試験合格見込成績証明書（原本） * 文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課に請求し入手すること。 又は次の①及び② ① 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定の「科目合格通知書」のコピー ② 試験科目に相当する科目の単位修得見込証明書（原本） * ①は文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課に、②は在学する学校にそれぞれ請求し入手すること。 平成 27 年度大学入学者選抜大学入試センター試験出願資格申告書 * この申告書は平成 26 年度第 2 回高等学校卒業程度認定試験の受験案内に様式が記載されているので、文部科学省から交付された同認定試験受験票のコピーをはり付け、作成すること。
いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者（学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者）であって、当該者をその後に入学させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの	「その後に入学させる大学」において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたことを証明する書類（原本） * 当該大学の学長が発行するもの	
大学において、個別の入学資格審査による認定を受けた者（→注 12-1・12-2・12-3）	認定を受けたことを証明する書類のコピー * 当該大学の学長が発行するもの	

(注 1) 「高等学校」（特別支援学校の高等部を含む。）又は「中等教育学校」を平成 27 年 3 月卒業見込みの者は、入学・進級年によって教育課程が分かれます。教育課程によって選択できる科目が異なりますので、志願者は必ず自分がどちらの教育課程の履修者になるのか確認してください（→p.2）。

(注 2-1) 外国にある学校（インターナショナルスクール等）の課程を修了した者は、我が国における大学入学資格が認められない場合がありますので、早めに次のものを大学入試センター事業第 1 課（→裏表紙）に郵送し（封筒の表面に「出願資格照会」と朱書きすること。）出願資格の有無を照会してください。

①当該課程の修了又は修了見込みを証明する書類（Diploma など）のコピー

②氏名、生年月日、住所、電話番号、小学校～高等学校までの履歴を記入した用紙（様式自由）

(注 2-2) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものも含む。）に合格した者で、平成 27 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの（大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」、アメリカ合衆国の「GED test」等がこれに該当します。）

(注 2-3) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものも含む。）に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は次表の上欄及び中欄に掲げる施設において研修並びに同表の下欄に掲げる施設における我が国の大学に入学するために必要な教科に係る教育をもって編成される当該課程を修了し、かつ、平成 27 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

上欄	中国帰国者定着促進センター（埼玉県）、大阪中国帰国者定着促進センター、福岡中国帰国者定着促進センター
中欄	北海道、山形県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、愛知県、京都府、大阪府、広島県、福岡県の各中国帰国者自立研修センター
下欄	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、愛知県、京都府、大阪府、広島県、福岡県の各中国帰国者自立研修センター

(注 2-4) 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 12 年の課程を修了したとされるものに限る。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた次の教育施設の当該課程を修了した者又は平成 27 年 3 月 31 日までに修了見込みの者であって、平成 27 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

所在地	平成 25 年 12 月 18 日現在で確認されている教育施設の名称
埼玉県	エスコーラ・インテルクートゥラウ・ウニフィカーダ・アルコ・イリス、コロンビア・インターナショナルスクール
東京都	インドネシア学校東京、カナディアンインターナショナルスクール、東京韓国学校中・高等部（旧東京韓国学校）、東京国際フランス学園（旧リセ・フランコ・ジャポネ・ド・トウキョウ及び旧リセ・フランコ・ジャポネ・ド・東京柳北校）、東京中華学校
神奈川県	東京横浜独逸学園、横浜中華学院
岐阜県	コレージオ・イザキ・ニュートン
静岡県	エスコーラ・アウカンセ、エスコーラ・ノヴァ・エラ、セントロ・エドカショナル・イ・プロフィシオナリザンチ－ C E P ブラジル
愛知県	コレージオ・ブラジル－ジャポン・プロフェソール・シノダ
三重県	ニッケン学園

*次の教育施設については、平成 18 年 2 月 6 日以降に修了した者に限ります。（平成 18 年 2 月 5 日以前に修了した者は注 2-3 の準備教育を行う課程を修了する必要があります。）

所在地	平成 25 年 12 月 18 日現在で確認されている教育施設の名称
茨城県	インスチツート・エドゥカレ（旧エスコーラ・ピンゴ・デ・ジェンテ）、エスコーラ・エ・クレシエ・ド・グルーポ・オピソン
群馬県	インスチツート・エドカショナル・ジェンテ・ミウーダ、インスチツート・エドカショナル・セントロ・ニッポ・ブラジレイロ・デ・オイズミ、エスコーラ・パラレロ各種学校（旧エスコーラ・パラレロ太田校）、伯人学校イーエース太田（旧コレージオ・ピタゴラス・ブラジル太田校）
山梨県	アルブス学園（旧コレージオ・ピタゴラス・ブラジル山梨校）

出B
願

所在地	平成 25 年 12 月 18 日現在で確認されている教育施設の名称
長野県	コレージオ・エ・クレシェ・サウ・エ・ルス, 長野日伯学園（旧コレージオ・ピタゴラス・ブラジル長野校）
岐阜県	セントロ・エドカショナル・ノヴァ・エターパ, ソシエダーデ・エドカショナル・ブラジリアン・スクール, HIRO 学園エスコーラ・ブラジレイラ・プロフェソール・カワセ（旧エスコーラ・ブラジレイラ・プロフェソール・カワセ）
静岡県	エスコーラ・ブラジル（旧エスコーラ・ブラジレイラ・デ・ハママツ）, 伯人学校イーエーエス浜松（旧エスコーラ・アレグリア・デ・サベル浜松校）
愛知県	エスコーラ・サンパウロ, エスコーラ・ネクター, 伯人学校イーエーエス豊田（旧エスコーラ・アレグリア・デ・サベル豊田校）, 伯人学校イーエーエス豊橋（旧エスコーラ・アレグリア・デ・サベル豊橋校）, 伯人学校イーエーエス碧南（旧エスコーラ・アレグリア・デ・サベル碧南校）
三重県	伯人学校イーエーエス鈴鹿（旧エスコーラ・アレグリア・デ・サベル鈴鹿校）
滋賀県	日本ラチーノ学院（旧コレージオ・ラティーノ・デ・シガ）

* 次の教育施設については、平成 25 年 1 月 31 日以降に修了した者に限ります。

所在地	平成 25 年 12 月 18 日現在で確認されている教育施設の名称
静岡県	ムンド・デ・アレグリア学校（ブラジル課程に限る。）

* 次の教育施設については、注 2-3 の準備教育を行う課程を修了する必要があります。

所在地	平成 25 年 12 月 18 日現在で確認されている教育施設の名称
静岡県	ムンド・デ・アレグリア学校（ペルー課程に限る。）

* 以上の教育施設については、今後追加されることがあります。

* コレージオ・ピタゴラス・ブラジル真岡校（栃木県）, エスコーラ・パラレロ伊勢崎校（旧エスコーラ・パラレロ東村校）（群馬県）, セントロ・エドカショナル・カナリニョ（埼玉県）, セントロ・デ・アブレンジザージェン・ロゴス（埼玉県）, エスコーラ・パラレロ伊那校（長野県）, インヂチット・エドカショナル・エマヌエウ（岐阜県）, エスコーラ・ウノ・デ・エデュカソン・インファンチウ・エンシーノ・フンダメンタウ・エ・エンシーノ・メディオ（静岡県）, エスコーラ・ニッポ・ブラジレイラ（静岡県）, コレージオ・アウレオ（愛知県）, 京都韓国中学（京都府）, セントロ・エドカショナル・ノヴォ・ダマスコ（長野県）, コレージオ・ピタゴラス・ブラジル浜松校（静岡県）, コレージオ・ドン・ボスコ（愛知県）, コレージオ・ピタゴラス・ブラジル愛知校（愛知県）を修了した者は大学入試センター事業第 1 課（→裏表紙）まで照会してください。

(注 3) 早稲田大学系属早稲田渋谷シンガポール校, スイス公文学園, 立教英國学院, 帝京ロンドン学園, 慶應義塾ニューヨーク学院, 上海日本人学校及び如水館バンコクの各高等部がこれに該当します（平成 25 年 4 月 1 日現在）。

下記の教育施設は、在外教育施設としての認定を取り消された又は指定を解除されているが、取り消された又は解除された日以前に修了した者は、文部科学大臣が指定した者に該当します。

教育施設の名称	認定を取り消された又は指定を解除された日
ブレーメン国際日本学園	平成 11 年 12 月 17 日
英国四天王寺学園	平成 13 年 3 月 31 日
英国暁星国際学園	平成 14 年 8 月 14 日
駿台イルランド国際学校	平成 15 年 3 月 31 日
アルザス成城学園	平成 17 年 3 月 31 日
テネシー明治学院	平成 19 年 3 月 31 日
東海大学付属デンマーク校	平成 20 年 3 月 31 日
ドイツ桐蔭学園	平成 24 年 3 月 31 日
フランス甲南学園トゥレーヌ高等部（旧トゥレーヌ甲南学園）	平成 25 年 3 月 31 日
サウスカーンズランドアカデミー	平成 25 年 3 月 31 日

(注 4) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 27 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

(注 5) 国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で平成 27 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

(注 6) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で平成 27 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

(注 7) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で平成 27 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

(注 8) 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）の認定を受けたものに置かれる 12 年の課程を修了した者又は平成 27 年 3 月 31 日までに修了見込みの者で、平成 27 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

*文部科学大臣が指定する国際的な評価団体は、今後追加されることがあります。

*文部科学大臣が指定する国際的な評価団体に認定されているかどうかは、在学（卒業）している教育施設に確認してください。

所在地	平成 24 年 12 月 21 日現在で確認されている教育施設の名称
北海道	北海道インターナショナルスクール
宮城県	東北インターナショナルスクール
埼玉県	コロンビア・インターナショナルスクール
東京都	セント・メリーズ・インターナショナルスクール、清泉インターナショナル学園、聖心インターナショナルスクール、アメリカンスクール・イン・ジャパン、クリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン、カナディアンインターナショナルスクール
神奈川県	サンモール・インターナショナルスクール、横浜インターナショナルスクール、ホライゾンジャパンインターナショナルスクール
愛知県	名古屋国際学園、インターナショナル・クリスチャン・アカデミー名古屋
京都府	京都インターナショナルユニバーシティー
大阪府	関西学院大阪インターナショナルスクール
兵庫県	カネディアン・アカデミィ、マリストプラザーズインターナショナルスクール
広島県	広島インターナショナルスクール
福岡県	福岡インターナショナルスクール
沖縄県	沖縄クリスチャンスクール・インターナショナル

(注 9) その他、旧制の諸学校の出身者や、小・中・高等学校の教諭の普通免許状を有する者など昭和 23 年文部省告示第 47 号で指定された者です。

(注 10) 高等学校卒業程度認定試験及び大学入学資格検定について不明な点があれば、文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課認定試験第二係（03 - 5253 - 4111（代表））に問い合わせてください。

(注 11) 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定で既に一部の科目に合格し、残りの試験科目に相当する科目について、在学している高等学校、高等専門学校、海外において高等学校の課程と同等の課程を有するものとして文部科学大臣が認定した在外教育施設又は文部科学大臣の指定により大学入学資格が付与されている専修学校高等課程で、平成 27 年 3 月 31 日までに修得する見込みの者がこれに該当します。

(注 12-1) 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 27 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

(注 12-2) 個別の入学資格審査による認定を受けたことを証明する書類は、大学入試センター試験出願時に必要なので、必ず大学入試センター試験の出願までに、志望大学に個別の入学資格審査の申請をして交付を受けておいてください。個別の入学資格審査の申請方法は、各大学が定めているので、志望大学に問い合わせてください。

(注 12-3) 個別の入学資格審査による認定の効力は、当該入学資格審査を行う大学（学部・学科等ごとに個別の入学資格審査が実施される場合には、当該学部・学科等）にのみ及びます。

2 出願期間と出願方法等

(1) 出願期間

平成 26 年 9 月 29 日（月）～10 月 9 日（木）

（10 月 9 日消印有効。10 月 9 日以降に到着したもののうち消印がないものについては、10 月 9 日までに郵便局の窓口に差し出されたことが確認できるものに限り受理します。）

(2) 出願方法

- ① 出願書類の提出方法は次表のとおりです。
- ② 書類に不備がある場合は、受理できないことがあります。
- ③ 出願方法について疑問がある場合は、出願期間の前に、できるだけ早く大学入試センター事業第 1 課（→裏表紙）に問い合わせてください。

区 分	出 願 書 類	提 出 方 法
高等学校*又は中等教育学校を卒業見込みの者 * 特別支援学校の高等部を含む。 * 高等学校卒業程度認定試験合格（合格見込みを含む。）などの資格で出願する場合は、下の「上記以外の者」により直接出願すること。	ア 志願票 記入後にコピーを取り、原本を提出し、コピーは保管しておくこと。 イ 検定料受付証明書（→p.26） 志願票に貼り付ける。「受付局日附印」が押印されていること。	学校経由出願 左記の出願書類を在学している学校に提出すること。 通信制課程の場合も在学している高等学校に提出すること。
上記以外の者 上記学校の卒業者や他の出願資格の者	ア 志願票 記入後にコピーを取り、原本を提出し、コピーは保管しておくこと。 イ 検定料受付証明書（→p.26） 志願票に貼り付ける。「受付局日附印」が押印されていること。 ウ 出願資格を証明する書類 封筒から出して、書類のみを志願票と一緒に提出すること。「開封無効」等の表示がある場合でも大学入試センター試験の出願に当たっては、封筒から出すこと。	個人直接出願 左記の出願書類を、この受験案内に添付してある封筒を使用して、必ず「簡易書留郵便」で郵送すること。 「簡易書留郵便物受領証」は大切に保管しておくこと。

(3) 出願の確認

大学入試センターは出願書類を受理したのち、10 月 27 日（月）までに届くように確認はがき（出願受理通知）を送付します（→p.28）。この確認はがきは、出願の受理及び受験教科等の登録内容を通知するものですので、記載内容に誤りがないかを必ず確認してください。

志願者本人の責めに帰すことができない理由により、出願期間内に出願できなかった場合（出願書類を在学する学校に提出又は郵便局の窓口に差し出したが、大学入試センターに到着しなかった場合）は、速やかに大学入試センター事業第 1 課（→裏表紙）まで申し出てください。

3 受験教科事前登録制

(1) 受験教科及び科目数等の登録

大学入試センター試験を受験するに当たっては、受験教科等について、あらかじめ、以下の事項を出願時に申し出て、登録する必要があります。

- ① 受験教科
- ② 地理歴史、公民の受験科目数
- ③ 理科の科目選択方法
- ④ 「数学②」及び「外国語」の別冊子試験問題の配付希望

これらの登録を正しく行わないと、希望する教科・科目を受験することができませんので、以下に示す注意事項をよく理解した上で、正しく登録してください。

登録した内容については、10月27日（月）までに受け取る「確認はがき」により確認し、万一、志願票への記入誤り等により、登録内容の訂正が必要となった場合は、大学入試センターに訂正を届け出てください（→p.28）。

(2) 受験教科及び科目数等の登録に当たっての主な注意事項

以下の注意事項は、出願に当たって特に注意が必要な事項を抜粋したものです。詳細については、「**6 志願票の記入方法**」（→p.20）をよく読んで、志願票に記入してください。

① 受験教科

ア 大学入試センター試験の出題教科は、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語の6教科です。試験当日は、登録された受験教科以外は受験できません。登録していない教科を受験しても採点されません。

イ 地理歴史及び公民については、同一の試験時間に実施しますので、出願時には、この2教科を「地理歴史、公民」の1教科として登録します。

ウ 数学については、試験時間を「数学①」と「数学②」のグループに分けて実施します。

数学を受験教科として登録した場合は、「数学①」のみの受験又は「数学②」のみの受験も可能です。

エ 理科については、試験時間を「理科①」と「理科②」のグループに分けて実施します。

② 地理歴史、公民の受験科目数

地理歴史、公民を受験する場合は、受験する科目数（1科目又は2科目）を登録します。

試験当日は、登録した受験科目数にしたがって、地理歴史と公民を合わせた10科目の中から、解答する科目を選択することができます。

※登録した科目数を試験当日に変更することはできません。

③ 理科の科目選択方法

理科を受験する場合は、次の科目選択方法を1つ選んで登録します。

ア 新課程履修者の場合（→p. 5）

- A 理科①から2科目を受験する
- B 理科②から1科目を受験する
- C 理科①から2科目、理科②から1科目受験する
- D 理科②から2科目を受験する

出 B

願

イ 旧課程履修者の場合 (→p. 7)

- A 理科①から 2 科目を受験する
- B 理科②から 1 科目を受験する
- C 理科①から 2 科目、理科②から 1 科目受験する
- D 理科②から 2 科目を受験する
- H 理科②（旧課程科目）から 1 科目受験する
- K 理科②（旧課程科目）から 2 科目受験する

※登録した科目選択方法を試験当日に変更することはできません。

④ 「数学②」及び「外国語」の試験時間における別冊子試験問題の配付を希望する場合

「数学②」の「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」及び外国語の「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」を受験する場合は、出願時に、**別冊子試験問題の配付希望**を申し出る必要があります。

なお、別冊子の配付を希望した場合でも、「数学②〔「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「旧数学Ⅱ・旧数学B」〕」や「外国語〔「英語（筆記）」〕」の問題冊子も併せて配付されますので、これらに掲載された科目を選択することもできます。

4 障害等のある方への受験上の配慮

(1) 大学入試センター試験の受験に際し、病気・負傷や障害等のために、解答方法、試験室、座席及び所持品等について、次表のような配慮を希望する者は平成26年10月9日(木)までに申請してください。大学入試センターは、志願者からの申請に基づき、審査の上、受験上の配慮を決定します。決定に当たっては個々の症状や状態等を総合的に判断します。

この申請がなければ、各試験場では受験上の配慮を行いません。日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を持参しようとする場合も、受験上の配慮の申請が必要となりますので、申請し忘れないよう、十分に注意してください。

なお、「座布団」「ひざ掛け」「ティッシュペーパー」「ハンカチ」「目薬」を持参しようとする場合は、受験上の配慮の申請は不要です。

受験上の配慮の対象となる者や配慮の具体的な内容、申請方法等は「受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕」に掲載しています。入手方法については、次ページを参照してください。

受験上の配慮の内容等について不明な点がある場合には、できるだけ早く大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に相談してください。

区分	対象となる者	配慮事項(例)
① 視覚障害	<ul style="list-style-type: none"> ・点字による教育を受けている者 ・良い方の眼の矯正視力が0.15以下の者 ・両眼による視野について視能率による損失率が90%以上の者 ・上記以外の視覚障害者 	<ul style="list-style-type: none"> ・点字解答・文字解答 ・拡大文字問題冊子の配付 ・拡大鏡等の持参使用 ・窓側の明るい座席を指定 ・照明器具の持参使用又は試験場側での準備
② 聴覚障害	<ul style="list-style-type: none"> ・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 ・上記以外の聴覚障害者 	<ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳士等の配置 ・注意事項等の文書による伝達 ・座席を前列に指定 ・補聴器又は人工内耳の装用 ・リスニングの免除
③ 肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> ・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外の肢体不自由者 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェック解答・代筆解答 ・介助者の配置 ・試験室を1階に設定 ・トイレに近い試験室で受験 ・車椅子、杖の持参使用 ・試験場への乗用車での入構
④ 病弱	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者 	<ul style="list-style-type: none"> ・試験室を1階に設定 ・杖の持参使用 ・別室の設定
⑤ 発達障害	<ul style="list-style-type: none"> ・自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害のため配慮を必要とする者 	<ul style="list-style-type: none"> ・試験時間の延長(1.3倍) ・チェック解答 ・拡大文字問題冊子の配付 ・注意事項等の文書による伝達
⑥ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレに近い試験室で受験 ・座席を試験室の出入口に近いところに指定

(2) 出願前申請

希望する配慮によっては審査に時間がかかる場合もあるため、受験上の配慮については出願前の申請を受け付けます。できるだけ早めに、申請してください。

出願前申請受付期間：8月1日（金）～9月26日（金）まで（9月26日消印有効）

なお、出願前に審査結果の通知を希望する場合は、9月5日（金）まで（消印有効）に申請してください。この場合、配慮の可否は、9月下旬までに「受験上の配慮事項審査結果通知書」により通知します。

また、この出願前申請を行っただけでは出願をしたことにはなりません。出願する場合には、この手続のほかに、必ず出願期間内（9月29日～10月9日）に志願票等の出願書類を提出してください（→p.14）。詳しいことは「受験上の配慮案内」で確認してください。

(3) 「受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕」の入手方法

受験上の配慮を希望する志願者は、できるだけ早い時期に「受験上の配慮案内」を次の①又は②の方法により入手してください（大学等では配付していません。）。申請に必要な申請書等の様式は、「受験上の配慮案内」にとじ込んであります。

- ① 大学入試センターのホームページ（→裏表紙）からダウンロードできます。申請書や診断書等の様式をダウンロードしてそのまま使用することができます。
- ② 次のア・イを封筒（表面に「受験上の配慮案内請求」と朱書すること。）に入れて大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に郵便で請求してください。
ア 氏名、現住所、電話番号、在学（又は出身）学校名を記入した便せん等
イ 返信用封筒（角形2号：縦33.2cm・横24cm、表面に現住所・氏名を記入し、250円分の切手を貼る。）

(4) 志望大学との事前相談

障害等の種類・程度によっては、入学を志望する大学の個別学力検査や修学上（入学後の大学生活等）の配慮を必要とすることがありますので、入学を志望する大学と早めに連絡を取り、当該大学が定めている期日までに、十分相談してください。

(5) 出願後の不慮の事故等による受験上の配慮

出願時に申請する受験上の配慮のほか、出願後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のための受験上の配慮があります（→p.40）。

この配慮は、申請する理由が出願後に発生したときに限り行うものです。したがって、出願時までに申請すべき内容であった場合には配慮しませんので、申請し忘れないよう、十分に注意してください。

5 成績通知

大学入試センターは、出願時の希望に基づき、成績通知書を志願者本人の住所に送付します。

(1) 成績通知の内容

「受験した科目名」「試験区分（本・追再試験の別）」「得点（科目別得点）」を成績通知書により通知します。

なお、「国語」については出題分野別得点を、「英語」については、「筆記」、「リスニング」別の得点を表示します。

また、「地理歴史、公民」及び「理科」については、次のとおりです。

ア 「地理歴史、公民」又は「理科②」の試験時間において2科目を受験した場合は、解答順に「第1解答科目」、「第2解答科目」別の得点を表示します。

イ 理科①を受験した場合は、選択した科目別の得点及びその合計点を表示します。

出 B

願

(2) 成績通知の時期

出願時に成績通知を希望した志願者には、平成27年4月16日（木）以降、4月下旬までに成績通知書を書留郵便で送付します。成績通知書が4月24日（金）までに届かない場合は、大学入試センター事業第一課（→裏表紙）に電話で問い合わせてください。

なお、成績通知書は再発行できませんので、大切に保管してください。

* 書留郵便は、配達時に不在の場合、郵便局に一定期間保管されます。郵便局が受取方法等を記した配達時不在連絡票を郵便受けに入れておきますので、直接、郵便局に問い合わせて受け取ってください。

なお、郵便局での保管期間（おおむね1週間）を過ぎると大学入試センターに返送されてしましますので注意してください。

(3) 成績通知の申込方法

成績通知を希望する志願者は、出願時に成績通知手数料（800円）を検定料と併せて払い込んでください（→p.26）。

また、成績通知を希望する志願者は、出願時に志願票の「⑩成績通知」欄の「希望する」を○で囲んでください（→p.22）。

なお、出願後に成績通知の希望の有無を変更することはできません。

(4) 大学入試センター試験終了後の「現住所の変更」

大学入試センター試験終了後に成績通知書を送付する現住所を変更する場合は、平成27年3月25日（水）まで（必着）に「住所等変更・訂正届」（→p.38）を記入した上で、封筒（表面に「住所等変更・訂正届」と朱書すること。）に入れて大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に郵送してください。

6 志願票の記入方法

記入上の注意

- ① 志願票は、必ず志願者本人が黒のボールペンでていねいに記入してください（病気・負傷や障害等のために記入が困難な場合は、保護者等が記入してください。）。
- ② 誤って記入した場合は、二重線を引き、余白部分に、修正内容が明確に分かるように訂正してください。その際、文字がマスからはみ出ても構いません。訂正印は不要です。
- ③ 記入の済んだ志願票は第Ⅰ面・第Ⅱ面ともにコピーを取り、出願の際には原本を提出してください（コピーした志願票は、大切に保管しておいてください。）。

出B

願

(1) 志願票（第Ⅰ面）各欄への記入

○ 平成27年度大学入学者選抜大学入試センター試験 志願票 第Ⅰ面
出願期間：平成26年9月29日（月）～10月9日（木）（10月9日消印有効）

※折らずに封筒に入れてください。

① 高等学校等コード （「高等学校等コード表」により記入）	出身学校名	② 受験上の配慮 （別途申請が必要）	③ 整理番号 （学校単位に一連番号を右に記入して下さい。）						
2		希望する	9 10 11 12						
1 2 3 4 5 6 7									
出願資格 （p.21の「出願資格」欄の記入方法を参考して下さい。）		④ 課程							
		1 全日制	2 定時制	3 通信制					
（卒業見込者は中等教育学校のみ記入者）		14	⑤ 学科						
		1 普通科	2 理数科	3 農業科	4 工業科	5 商業科	6 総合学科	7 その他	
		15	⑥ 卒業見込者・卒業者の別		※⑦卒業見込者の入学した年について、中等教育学校卒業見込者の場合は後期課程に進級した年を記入して下さい。				
		16 17 18	1 卒業見込者	2 卒業者	S昭和	H平成			
		19 20 21							
		22	⑨ その他の出願資格						
		1 外国学校等	2 在外教育施設	3 専修学校等課程	4 文部科学大臣の指定した者	5 高卒認定試験	6 その他		
氏名		23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40	⑩ カタカナ記入 （姓と名の間に1マスあけ、濁点及び半濁点は1マスを使用して下さい。）	⑫ 性別	1 男	2 女	61		
		21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40	⑪ 漢字等記入 （かい書で丁寧に記入して下さい。姓と名の間に1マスあけて下さい。）	⑬ 生年月日	年	月	日		
		21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40		S昭和					
				H平成					
				62	63	64	65	66	67 68
現住所 （志願者全員が、必ず記入して下さい。）		⑯ 郵便番号	都道府県						
★現住所の登録は⑯郵便番号、⑰カタカナ・数字等記入欄で行います。			市区郡町村						
★1マスに1字ずつ記入し、濁点及び半濁点も1マスを使用して下さい。			町・丁目番地						
★1行に入らない場合は、区切りのよいところで改行してください。			別荘・アパート・マンション名						
★知人宅等に下宿をしている場合は、「○○様方」まで必ず記入して下さい。		漢字等記入	号室						
			様方	都道府県					

高等学校等コード・出身学校名

57ページの「高等学校等コード表」にしたがって、出身学校のコードを記入してください。

- * 通信制の学校については、その学校の本部のある都道府県の欄に記載されています。
- * 出身学校が他校と統合された場合や学校名が変更となった場合は、変更後のコードを記入してください。
- * 出身学校が廃校となった場合は、その学校の所在していた都道府県の「上記以外の高等学校等」のコードを記入してください。
- * 高等学校卒業程度認定試験及び大学入学資格検定の「出身学校名」は、「高卒認定」と記入してください。

【希望者のみ】受験上の配慮

受験上の配慮を申請する場合のみ、「希望する」を○で囲んでください。受験上の配慮の出願前申請（→p.18）を行った場合も○で囲んでください。

- * 出願期間（9月29日～10月9日）に受験上の配慮を申請する場合は申請書や診断書等の必要書類を必ず志願票に添付して出願してください（出願前申請を行った場合は受験上の配慮出願前申請済届（→「受験上の配慮案内」p.35）を添付してください。）。

出願資格

○ 高等学校又は中等教育学校卒業見込・卒業者の記入欄

- 「④課程」「⑤学科」「⑥卒業見込者・卒業者の別」… それぞれ該当するものを○で囲んでください。
- 「⑦入学した年」…………… 卒業見込者のみ記入してください。（中等教育学校卒業見込者の場合は後期課程に進級した年を記入してください）
- 「⑧卒業した年」…………… 卒業者のみ記入してください。

○ 上記以外の出願資格者の記入欄

- 「⑨その他の出願資格」…………… 該当する資格を○で囲んでください。

氏名・性別・生年月日

「⑩カタカナ氏名」…姓と名の間を1マスあけ、濁点等は1マスを使用して記入してください。

「⑪漢字等氏名」…できるだけ常用漢字で記入してください（JIS漢字コードの第1・第2水準以外の文字を含む場合、その文字が置き換えられるか、すべてカタカナで表示されます）。

- * 氏名に小文字が含まれる場合は、大文字に置き換えて記入してください。【「ショウ」→「ショウ」など】

「⑫性別」

男・女のどちらかを○で囲んでください。

「⑬生年月日」

該当する年号を○で囲み、年月日を記入してください。

年月日が1桁の場合は、その数字の前に

「0」を記入してください。

【置き換えられる文字の例】

邊	→	邊	朗	→	朗	祐	→	祐
濱	→	濱	角	→	角	菜	→	桑
廣	→	廣	臺	→	臺	遙	→	遙
高	→	高	崎	→	崎	ヲ	→	才

電話番号

自宅等の固定電話及び志願者本人の携帯電話の電話番号を、ハイフンを入れて左づめで記入してください（どちらか1つしかない場合は、片方のみの記入でも構いません）。

現住所

現在、居住している住所を記入してください（住民票に記載された住所である必要はありません）。学校や予備校の住所、私書箱、郵便局留は使用できません。

マンション等に居住している場合は、建物名、部屋番号まで記入してください。

- * 現住所のカタカナに小文字が含まれる場合は、大文字に置き換えて記入してください。
【「〇〇チョウ」→「〇〇チョウ」など】

(2) 志願票（第Ⅱ面）各欄への記入

出B

願

平成27年度大学入学者選抜大学入試センター試験 志願票 第Ⅱ面

⑯受験教科
受験する・しないにかかわらず、必ず該当する選択肢を1つ選び、その記号を正しく記入してください。

教科名	選択記入欄	
国語	A…受験する X…受験しない	200
地理歴史 公民	A…1科目受験する B…2科目受験する X…受験しない	201
数学	A…受験する X…受験しない	202
理科	新課程科目を受験する A…理科①を受験する B…理科②を1科目受験する C…理科①を受験、理科②を1科目受験する D…理科②を2科目受験する	203
	旧課程科目を受験する H…理科②を1科目受験する K…理科②を2科目受験する	204
	X…受験しない	205
外國語	A…受験する X…受験しない	206

【希望者のみ】⑯別冊子試験問題配付希望
次の科目の受験を希望する者のみ記入してください。

数学②のうち次の科目 「工業数学基礎」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	希望する 207
外國語のうち次の科目 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	希望する 208

⑰成績通知
【成績通知】の希望の有無に○をしてください。

成績通知	成績通知 1希望する 2希望しない 209
------	-----------------------------

払込金額

成績通知	
希望する	希望しない
受験教科数	3教科以上 18,800円 18,000円 2教科以下 12,800円 12,000円

●受験教科数の計算について
選択記入欄に記入した「X」以外のアルファベットの数を足した合計が、検定料の払込金額を決めるまでの受験教科数となります。
例えば、選択記入欄に上から順番に「A, B, X, D, A」と記入した場合、受験教科数は、「X以外のアルファベットが4つ」で、合計4教科となります。

E 検定料受付証明書貼り付け欄

【該当者のみ】
「イヤホン不適合措置申請書」貼り付け欄

★ リスニングで使用するイヤホンが耳に装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」に必要事項を記入し、この欄にはがれないようしっかりと貼り付けてください。(受験案内46 ページ参照)

記入の済んだ志願票は両面ともコピーを取り、コピーは大切に保管してください。

受験教科 (→p.5)

受験教科等の登録に当たっては、あらかじめ志望する大学の募集要項等を確認した上で、すべての教科について、それぞれ該当する記号を選択し選択記入欄に記入してください。

なお、選択記入欄に記入した「X」以外のアルファベットの数を足した合計が、検定料の払込金額を決める上での受験教科数となります。この欄の記入内容と検定料受付証明書の払込金額に相違がある場合は、志願票どおりに登録できないことがあります (→p.27)。

教 科	記入方法
国 語	<ul style="list-style-type: none"> 受験する → 「A」と記入 受験しない → 「X」と記入
数 学	<ul style="list-style-type: none"> 数学を「A」(受験する)として登録した場合は、「数学①」と「数学②」の両方が登録されます 「数学①」のみ又は「数学②」のみの受験も可能です。
外 国 語	
地理歴史	<ul style="list-style-type: none"> 1科目受験する → 「A」と記入
公 民	<ul style="list-style-type: none"> 2科目受験する → 「B」と記入 受験しない → 「X」と記入
理 科	<p>新課程科目を受験する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 理科①を受験する → 「A」と記入 理科②を1科目受験する → 「B」と記入 理科①を受験、理科②を1科目受験する → 「C」と記入 理科②を2科目受験する → 「D」と記入 <p>旧課程科目を受験する場合 (新課程履修者は選択できません。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 理科②を1科目受験する → 「H」と記入 理科②を2科目受験する → 「K」と記入 受験しない → 「X」と記入

記入欄に正しく記入されていない場合(未記入又は選択肢にない文字を記入等)は、その教科を「受験しない」教科として登録します。

出 B
願

【希望者のみ】別冊子試験問題の配付 (→p.5)

数学及び外国語で、次の科目の受験を希望する場合は、「希望する」を○で囲んでください。

教科 (グループ)	配付希望の登録が必要な科目
数 学 ②	「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」
外 国 語	「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」

なお、別冊子の配付を希望した場合でも、数学②の「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「旧数学Ⅱ・旧数学B」や外国語の「英語(筆記)」の問題冊子も同時に配付されますので、これらの科目を選択することもできます。

成績通知 (→p.19)

成績通知を希望する場合は「1 希望する」を、希望しない場合は「2 希望しない」を○で囲んでください。

なお、この欄の記入内容と検定料受付証明書の払込金額に相違がある場合は、検定料受付証明書の払込金額にしたがって、成績通知希望の有無を登録します。

【該当者のみ】イヤホン不適合措置申請書 (→p.46)

リスニングで使用するイヤホンが耳に装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」を貼り付けてください。

検定料受付証明書 (→p.26)

検定料を払い込み、日附印の押されたE「検定料受付証明書」を貼り付けてください。

検定料の払込み金額は、次のとおり「受験教科数」と「成績通知の希望の有無」により異なりますので、正しい金額を払い込んでください。

	成績通知を希望する	成績通知を希望しない
3教科以上受験	18,800円	18,000円
2教科以下受験	12,800円	12,000円

受験教科等の登録 <Q & A>

Q1 出願時に地理歴史、公民を「受験しない」として登録しましたが、「1科目受験する」に訂正することはできますか？

A 11月4日（火）まで（消印有効）に届け出れば、受験教科等の登録内容を訂正することができます。

大学入試センターは、出願後、受験教科等の登録内容が記載された「確認はがき」を10月27日（月）までに届くように送付しますので、登録された受験教科等を訂正する必要がある場合は、「確認はがき」到着後、11月4日（火）まで（消印有効）に、大学入試センターに「登録教科等訂正届」を郵送してください（→p.28）。

なお、この訂正期限を過ぎた場合、登録教科の訂正は一切できませんので注意してください。

* 氏名、生年月日、連絡先を訂正する場合は、38ページの「住所等変更・訂正届」をコピーして、3月25日（水）まで（必着）に郵送してください。

Q2 試験当日に、受験教科として登録されていない教科を受験することができますか？

A 受験できません。

万一、試験当日に登録していない教科を受験しても、その教科は採点されません。

Q3 「受験する」として登録されている教科の受験を、試験当日になって取りやめることはできますか？

A 試験時間単位で受験を取りやめることができます。

例えば、数学については、試験時間を「数学①」と「数学②」のグループに分けていますが、どちらか片方のグループだけを受験しても構いません。

受験を取りやめた場合、その試験時間は受験しなかったものとして取り扱いますが、取りやめても0点として採点されることはありません。

Q4 地理歴史、公民を「2科目受験する」として登録しましたが、試験当日に1科目のみを受験することはできますか？

A できません。

「地理歴史、公民」を「2科目受験する」と登録した場合、2科目分の解答時間を合わせて1つの試験時間としているので、試験当日に、1科目のみを受験する（1科目だけ受験を取りやめる）ことはできません。「2科目受験する」と登録した場合、必ず2科目分を採点（前半の60分を第1解答科目、後半の60分を第2解答科目として採点）します。

同様に、「1科目受験する」と登録した場合、試験当日に「2科目受験する」に変更することもできません。（理科②も同様です。）

Q5 理科①は2科目解答することになっていますが、1科目だけを解答することはできますか？

A できません。

理科①は試験時間60分で必ず2科目を解答してください。

なお、解答する科目の順序は問いません。また、解答時間（60分）の配分は自由です。

Q6 理科①は試験時間60分で2科目を解答することになっていますが、1科目当たりの解答時間は決まっていますか？

A 1科目当たりの解答時間の決まりはありません。60分で2科目を解答し、1科目当たりの時間配分は自由です。

Q7 高等学校を卒業した者ですが、去年と同じ内容の「数学Ⅱ・数学B」を受験したい場合には、今年は「旧数学Ⅱ・旧数学B」を受験すればよいのですか？

A そのとおりです。

なお、平成26年度大学入試センター試験まで出題していた「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」の各科目は、経過措置としてそれぞれ「旧数学Ⅰ」、「旧数学Ⅰ・旧数学A」、「旧数学Ⅱ・旧数学B」として出題します。

Q8 理科の科目選択方法を試験当日に変更することはできますか？

A できません。

また、科目選択方法で理科②を2科目受験すると登録した場合、2科目分の解答時間を合わせて1つの試験時間としているので、試験当日に1科目のみ受験する（1科目だけ受験を取りやめる）ことはできません。

Q9 旧課程履修者ですが、数学を新課程、理科を旧課程の組合せで受験できますか？またその逆も可能ですか？

A 数学と理科で教育課程が異なって受験しても問題ありません。

なお、理科において、新・旧の異なる教育課程の科目を組み合わせて選択して解答することはできません。

Q10 旧課程履修者ですが数学、理科の新課程科目を受験することはできますか？

A 受験できます。

理科については、出願時に新課程科目、旧課程科目のどちらを受験するか登録する必要があります。試験当日に登録された科目選択方法を変更することはできません。

数学については、受験すると登録した上で試験当日にどちらを受験するか選択することができます。

また、数学①と数学②で新課程科目と旧課程科目を組み合わせて受験することができます。

Q11 旧課程履修者ですが、数学と理科は試験当日に新旧課程科目を変更することはできますか？

A 数学①と数学②において新課程科目と旧課程科目のいずれかから1科目を選択できます。理科は試験当日に科目選択方法を変更することはできません。

Q12 旧課程履修者用の「旧数学Ⅱ」はないのですか？

A ありません。

「数学Ⅱ」は旧課程履修者にも対応した出題内容となっているため「旧数学Ⅱ」は出願されません。

7 検定料及び成績通知手数料の払込方法

(1) 検定料等の払込金額

払込金額は、受験教科数、成績通知（手数料800円）の希望の有無により、次の4種類があります。

試験当日に受験する教科と成績通知の希望の有無をあらかじめ決めた上で、正しい金額を払い込んでください。

出B

願

区分	成績通知を希望する場合	成績通知を希望しない場合
3教科以上を受験する場合	18,800円	18,000円
2教科以下を受験する場合	12,800円	12,000円

なお、受験教科数を数える際に、地理歴史と公民については、この2教科を合わせて1教科として数えますので注意してください。

例えば、国語、地理歴史、公民の3教科を受験する場合でも、出願時においては、地理歴史と公民を合わせて1教科として数えますので、払い込む検定料は、「2教科以下を受験する場合」の「12,800円」又は「12,000円」のいずれかとなります。

(2) 払込期間

平成26年9月1日（月）～10月9日（木）（出願期間は9月29日～10月9日）

(3) 払込場所

「ゆうちょ銀行・郵便局の受付窓口」又は「払込書裏面記載の銀行の受付窓口」
必ず受付窓口で払い込んでください。ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。

* 「払込書」の裏面には「ATMでもご利用いただけます」と記載されていますが、大学入試センター試験では、ATMで払い込んだものは使用できません。

(4) ゆうちょ銀行・郵便局及び「払込書」裏面記載の銀行の本・支店間を利用した場合の振込手数料は、大学入試センターが負担します。それ以外の金融機関（信用金庫・農協など）を利用した場合の振込手数料は、志願者本人の負担となります。

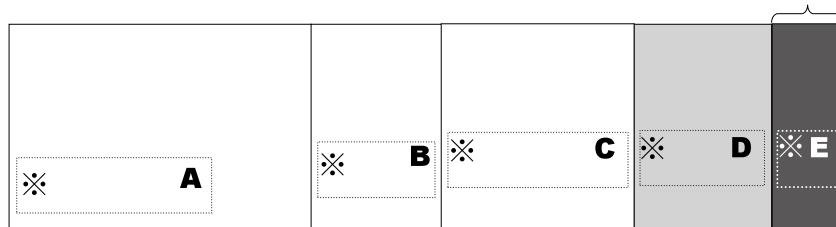
(5) 払込方法（下記の払込書イメージ図を参照）

① この受験案内に添付されている4種類の払込書の中から、受験教科数や成績通知希望の有無に応じた金額の払込書を選び、その払込書を使用してください。

② 「払込書」は5つの部分からなっており、それぞれの「志願者」欄には、A～Eの記号が印刷されています。A～Eの各欄には、※印の指示にしたがって志願者本人の住所、氏名等を記入してください。

〔払込書イメージ図〕

志願票に貼り付けるのはこの部分です。



- ③ 銀行（ゆうちょ銀行除く。）で払い込む場合は、振込先欄に銀行名、支店名、口座番号も記入してください。
- ④ 払込み後は、日附印の押された **E「検定料受付証明書」** を志願票に貼り付けてください。
D「振替払込請求書兼受領証」 は本人の控えとして大切に保管してください。

(6) 出願に際しての注意事項

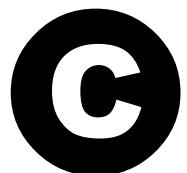
- ① 志願票（第Ⅱ面）の貼り付け欄に検定料等の払込済の **E「検定料受付証明書」** を貼り付けた後に、志願票の記入誤り等に気付き、やむを得ず新しい志願票に記入し直す場合でも、検定料は二重に払い込まないでください。その場合は、払込済の **E「検定料受付証明書」** を志願票ごと切り取って、新しい志願票に貼り付けてください。
- ② 払込済の **E「検定料受付証明書」** が志願票に貼り付けられていない場合は、出願を受理しません。
- ③ **E「検定料受付証明書」** を紛失した場合は、代わりに **D「振替払込請求書兼受領証」** を志願票に貼り付けてください。
- ④ 成績通知について、志願票に貼り付けられた **E「検定料受付証明書」** の払込金額と志願票の記入に相違があった場合は、**E「検定料受付証明書」** の払込金額に従って、出願を受理します。
- ⑤ 志願票に貼り付けられた **E「検定料受付証明書」** の払込金額と志願票に記入された受験教科数に相違があった場合は、志願票どおりに登録できない場合がありますので必ず払込金額と志願票に記入した登録教科数と一致していることを確認してください。相違があった場合は、確認はがきに表示されますので、所定の訂正手続をしてください（→p.28～30）。

(7) 検定料等の返還請求

- ① 検定料等の返還請求ができるのは、以下の場合のみです。それ以外の場合は、いかなる理由があっても払込済の検定料及び成績通知手数料は返還しません。
 - ア 検定料等を払い込んだが大学入試センターに出願しなかった（出願書類等を大学入試センターに提出しなかった）又は出願が受理されなかった場合
 - イ 検定料等を二重に払い込んだ場合

② 返還請求の方法

大学入試センターのホームページ(→裏表紙)から「検定料等返還請求書」をダウンロードして必要事項を記入し、**E「検定料受付証明書」** を貼り付けて大学入試センター財務課（〒153-8501 東京都目黒区駒場 2-19-23）へ郵送してください。返還時期は、平成 27 年 2 月中旬以降を予定しています。



出願後

1 確認はがき(出願受理通知)～登録内容の確認

「確認はがき」は、出願が受理されたことを通知するとともに、登録された志願票の記入事項のうち、特に重要な事項を表示したものです。

(1) 確認はがきの送付

大学入試センターは出願書類を受理したのち、確認はがきを10月27日(月)までに届くように送付します(高等学校等(通信制課程を除く)を卒業見込みの者は在学している学校に送付します。)。

確認はがきが10月27日(月)までに届かない場合は、必ず大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で問い合わせてください。

(2) 登録内容の確認

受領後は、保管してある志願票のコピーと照らし合わせて、出願時の登録内容と確認はがきの表示内容に誤りがないかをよく確認してください。

(3) 登録内容の訂正方法

確認はがきの表示に誤りがある場合や受験教科等をやむを得ず訂正する場合は、次の手順にしたがって、訂正内容を大学入試センターに届け出してください。

① 氏名、生年月日、連絡先を訂正する場合

「住所等変更・訂正届」(→p.38)に訂正内容を記入し、確認はがきのコピーを貼り付けてください(記入した「住所等変更・訂正届」はコピーを取り、大切に保管しておいてください。)。

② 登録教科等及び別冊子試験問題の希望を訂正する場合

訂正が必要な項目について、29ページの(4)の表中「訂正に当たっての注意点」をよく読んで、「登録教科等訂正届」(→p.31)に訂正のある箇所のみ記入し、確認はがきのコピー等必要書類を貼り付けてください(作成した「登録教科等訂正届」はコピーを取り、大切に保管しておいてください。)。

* 受験教科の訂正に伴い受験教科数が「2教科以下から3教科以上」又は「3教科以上から2教科以下」に変更となる場合は、再度、検定料を払い込む必要があります(→p.26)。

③ 「住所等変更・訂正届」、「登録教科等訂正届」の提出方法

ア 次表の送付方法にしたがって、11月4日(火)まで(消印有効)に、大学入試センターに郵送してください。

区分	送付方法
高等学校を卒業見込みの者など学校を経由して出願した者(ただし、下欄の者を除く。)	必要書類を在学している学校に提出すること(学校単位で取りまとめて大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に簡易書留郵便で郵送。)。
・この受験案内に添付された封筒で個人出願した者 ・高等学校等の通信制課程を卒業見込みの者	必要書類を封筒に入れて、大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に簡易書留郵便で郵送すること(封筒の表面に「登録教科等訂正」と朱書きすること。)。

イ 大学入試センターは、届出内容にしたがって登録内容を訂正します。訂正された内容は、12月15日(月)までに到着する受験票(→p.32)で再度確認してください(確認はがきの再送付は行いません。)。

ウ 「登録教科等訂正届」の誤記入、必要書類の不足等がある場合や、11月5日(水)以降の消印の場合は、訂正是一切受け付けません。

志願者本人の責めに帰すことができない理由(訂正届を期限前に在学する学校に提出又は郵便局の窓口に差し出したが、大学入試センターに到着しなかった場合)により、訂定期限までに届出ができなかった場合は、速やかに大学入試センター事業第1課(→裏表紙)まで申し出てください。

(4) 確認はがきの主な表示項目と訂正に当たっての注意点

【確認はがきの表示例】

① フリガナ、氏名、
生年月日、性別

高等学校等コード	134406 西多摩		
フリガナ 氏名	ヨハネ 加藤 駒場 太郎		
生年月日	平成08年10月02日	性別	男
042-395-999×			
② 連絡先等	連絡先等 〒193-0013 東京都駒場市大学町 5-19-23		
③ 履修課程	履修課程 新課程		
④ 成績通知	成績通知	あり	受験上の配慮
⑤ 受験上の配慮	希望しない イヤホン不適合措置 なし		
⑥ イヤホン不適合措置	国語 A 受験する 地理歴史、公民 A 1科目受験する 数学 X 受験しない 理科 D 理科②(新課程科目)を2科目受験する 外国語 A 受験する		
⑦ 登録教科	別冊子試験問題 数学② なし 外国語 あり		
⑧ 別冊子試験問題			

「地理歴史、公民」「理科」

②】科目数の訂正について

試験当日に、登録した科目数を変更することはできません。例えば、「2科目受験する」として登録した場合、試験当日に1科目のみを受験することはできません。

科目数の訂正を希望する場合は、訂定期限までに「登録教科等訂正届」を大学入試センターに郵送してください。

**出C
願
後**

表示項目	表示内容についての説明	訂正に当たっての注意点
① フリガナ 氏名 生年月日 性別	氏名にコンピュータで登録できない文字が含まれる場合は、その文字が置き換えられる(→p.21)か、すべてカタカナで表示されますが、登録の誤りではありません。	【必要書類】「住所等変更・訂正届」(→p.38) 確認はがきの表示内容が誤っている場合や、出願後に住所等を変更した場合は、「住所等変更・訂正届」(→p.38)を提出してください。 性別が誤っている場合は、試験場の指定に影響がありますので、速やかに大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で連絡してください。
② 連絡先等	住所の後半部分(マンション名や「字(あざ)」以降の住所など)はカタカナで表示されますが、登録の誤りではありません。	
③ 履修課程	あなたの履修課程が、「新課程」か「旧課程」かを表示しています。	表示内容が誤っている場合は、試験場及び試験室の指定に影響がありますので、速やかに大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で連絡してください。
④ 成績通知	成績通知手数料(800円)を払い込んだ場合は、「あり」と表示されます。	出願時に申し出た内容を変更することはできません。
⑤ 受験上の配慮	受験上の配慮を申請した場合は、「希望する」と表示されます。	万一、確認はがきの表示内容が誤っている場合は、大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で連絡してください。
⑥ イヤホン不適合措置	リスニングのイヤホン不適合措置を申請した場合は、「あり」と表示されます。	
⑦ 登録教科	各教科について「受験する」又は「受験しない」と表示されます。 地理歴史、公民又を受験する場合は、「1科目受験する」又は「2科目受験する」と表示されます。 理科を受験する場合は、科目選択方法が表示されます。 出願上の不備がある場合は別表のような表示があります(→p.30)。	【必要書類】「登録教科等訂正届」(→p.31) ・訂正する教科のみ該当する選択肢を1つ選び、記入してください。別冊子試験問題の配付の希望を訂正する場合は、希望の有無に○をつけてください。 ・訂正の必要がない箇所は、記入しないでください。記入がない箇所については、確認はがきに記載されている登録内容で受験票を発行します。 ・すべての教科を「受験しない」とする訂正是できません。 ・受験教科の訂正に伴い受験教科数が「2教科以下→3教科以上」又は「3教科以上→2教科以下」に変更となる場合や検定料の払込金額が受験教科数と一致していない場合は、再度、検定料を払い込み、「E 検定料受付証明書」を検定料受付証明書貼り付け欄に貼り付けてください。 なお、「E 検定料受付証明書」が貼り付けられていない場合は、訂正を受け付けられません。
⑧ 別冊子試験問題	「数学②」「外国語」で別冊子試験問題の配付を希望した場合は、「あり」と表示されます。	すでに払い込んだ検定料は返還請求することができますので、「検定料等返還請求書」(→p.27)を同封してください。

(5) 出願上の不備がある場合の表示内容と登録教科等訂正届の提出がなかった場合の取扱い

下表のア～ウの表示がある場合は、不備がありますので、(3)登録内容の訂正方法に従って必ず訂正してください。

不備の表示内容	訂正がない場合の登録方法
<p>ア 旧課程科目を選択しているため登録できません ⇒新課程履修者が理科で「旧課程の科目選択方法」を選択した場合に表示されます。</p>	理科は「受験しない」で登録します。
<p>イ 検定料が不足しています ⇒2教科以下の検定料で登録教科が3教科以上の場合に表示されます。</p>	志願票の受験教科欄に「受験する」と記入した教科のうち、上から2教科で登録します。
<p>ウ 登録教科数より多く検定料を払い込んでいます ⇒3教科以上の検定料で登録教科が2教科以下の場合に表示されます。</p>	志願票に記入されたとおり登録します。

平成27年度大学入試センター試験 登録教科等訂正届

※センター記入欄

① 志願者本人の氏名と生年月日を記入してください

フリガナ			
氏名			

生年月日	年	月	日
□昭和 □平成			

② 訂正する箇所のみ、訂正後の内容を記入してください

教科名	訂正記入欄	
国語	A …受験する X …受験しない	
地理歴史 公民	A … 1科目受験する B … 2科目受験する X …受験しない	
数学	A …受験する X …受験しない	
理科	新課程科目を受験する	A …理科①を受験する B …理科②を 1科目受験する C …理科①を受験、理科②を1科目受験する D …理科②を 2科目受験する
	旧課程科目を受験する	H …理科②を 1科目受験する K …理科②を 2科目受験する
	※新課程履修者は選択不可	
	X …受験しない	
外国語	A …受験する X …受験しない	

【希望者のみ】別冊子試験問題の配付		
数学②	希望する	希望しない
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外国語	希望する	希望しない
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

●訂正する教科のみ該当する選択肢を 1つ選び、その記号を訂正記入欄に正しく記入してください。正しく記入されていない場合（複数の記号を記入、選択肢にない文字を記入等）は、その教科は訂正しません。

●記入がない箇所については、確認はがきに記載されている登録内容で受験票を発行します。

●記入に当たっては、「受験案内」の29ページをよく読んでください。必要書類や記載内容に不備がある場合、訂正是一切受け付けません。

出C
願
後

③ 確認はがきのコピーを貼り付けてください

確認はがき貼り付け欄

登録内容の訂正期限 平成26年11月4日(火)(消印有効)

高等学校等 コ 一 ド	●●●●●●●●●●			
フリガナ 氏 名	●● ●● ●●			
生年月日	●●●●●●●●	性 別	●	
連絡先等	●●●-●●●-●●●●			
履修課程	〒 ●●●-●●●●			
成績通知	●●	受験上の配慮	●●●●●●	
イヤホン不適合措置	●●			
登録教科	国語	●	●●●●●●	
	地理歴史、公民	●	●●●●●●	
	数学	●	●●●●●●	
	理科	●	●●●●●●	
	外国語	●	●●●●●●	
別冊子試験問題	数学②	●●	外国語	●●

平成26年●月●日発行 (00000011-010001-000001)

【対象者のみ】

受験教科数が「2教科以下→3教科以上」又は「3教科以上→2教科以下」に変更となる方のみ貼り付けてください。

E 検定料受付証明書貼り付け欄

【訂正届の提出者全員】
「確認はがき」のコピーを貼り付けてください。

届け出の際は、このページをコピーして使用してください。

2 受験票・写真票・成績請求票

(1) 受験票等の送付

大学入試センターは、出願を受理した志願者に対して、(2)の見本のような「受験票」「写真票」「成績請求票」を「受験上の注意」とともに、12月15日（月）までに届くように、下表のとおり送付します。

受験票等が12月15日（月）までに届かない場合は、必ず大学入試センター事業第1課に再発行を申請してください（→p.36）。

区分	送付方法
高等学校を卒業見込みの者など学校を経由して出願した者（ただし、下欄②の者を除く。）	在学している学校に送付し、学校から配付されます。
① 受験案内に添付された封筒で個人出願した者 ② 高等学校等の通信制課程を卒業見込みの者	志願者本人に直接送付します。

出
C
願
後

(2) 受験票・写真票・成績請求票の受領後の取扱い

「受験票」「写真票」「成績請求票」（見本）

平成27年度 大学入学者選抜大学入試センター試験受験票																			
試験場名	東西大学 第1試験場																		
所在地	東京都目黒区駒場2-19-23																		
道順	京王電鉄井の頭線「駒場東大前駅」西口下車、徒歩5分																		
問い合わせ先	東西大学 試験当日以外の電話 03-3465-8600 試験当日の電話 03-3465-8600																		
入学手続で提出する受験票	西多摩高等学校 (コマハ タロウ) 駒場 太郎 殿 (13440G-20011-010001)																		
推薦	平成27センター試験成績請求書 ■ 公立 挑戦入試用 200011 - 1001X - 1 (コマハ タロウ) 駒場 太郎																		
私・短	平成27センター試験成績請求書 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (コマハ タロウ) 駒場 太郎																		
私・短	平成27センター試験成績請求書 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (コマハ タロウ) 駒場 太郎																		
私・短	平成27センター試験成績請求書 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (コマハ タロウ) 駒場 太郎																		
私・短	平成27センター試験成績請求書 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (コマハ タロウ) 駒場 太郎																		
私・短	平成27センター試験成績請求書 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (コマハ タロウ) 駒場 太郎																		
私・短	平成27センター試験成績請求書 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (コマハ タロウ) 駒場 太郎																		
受験番号 200011 受験票回数 1 上履き持参 受験上の配慮 ハンドル貸与 性別 男 平成08年10月02日生																			
旧教育課程履修者																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>受験教科名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 地理歴史、公民</td> <td><input type="radio"/> 登録科目数 2</td> </tr> <tr> <td>日 语</td> <td>一</td> </tr> <tr> <td>外 国 語</td> <td><input type="radio"/> 別冊子配付あり</td> </tr> <tr> <td>理 科 ①</td> <td>一</td> </tr> <tr> <td>2 数 学 ①</td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>数 学 ②</td> <td><input type="radio"/> 別冊子配付あり</td> </tr> <tr> <td>日 目</td> <td>登録科目数 1 (旧課程科目を登録)</td> </tr> <tr> <td>理 科 ②</td> <td><input type="radio"/></td> </tr> </tbody> </table> <p>○を付した教科のみ受験できます。 数学は数学①と数学②を合わせて表示しています。 登録された教科、科目数、理科②の新・旧の課程科目を変更することはできません。</p>		受験教科名	備考	1 地理歴史、公民	<input type="radio"/> 登録科目数 2	日 语	一	外 国 語	<input type="radio"/> 別冊子配付あり	理 科 ①	一	2 数 学 ①	<input type="radio"/>	数 学 ②	<input type="radio"/> 別冊子配付あり	日 目	登録科目数 1 (旧課程科目を登録)	理 科 ②	<input type="radio"/>
受験教科名	備考																		
1 地理歴史、公民	<input type="radio"/> 登録科目数 2																		
日 语	一																		
外 国 語	<input type="radio"/> 別冊子配付あり																		
理 科 ①	一																		
2 数 学 ①	<input type="radio"/>																		
数 学 ②	<input type="radio"/> 別冊子配付あり																		
日 目	登録科目数 1 (旧課程科目を登録)																		
理 科 ②	<input type="radio"/>																		
<p style="text-align: center;">写 真 (4cm×3cm) 写真的裏に氏名を記入の上、あわせて貼り付けてください。</p> <p>姓 (氏名) (あらわし用のヨーロッパ式記入をしてください)</p>																			
<p style="text-align: right;">性別 男</p> <p>（氏名） （登録用） (あらわし用のヨーロッパ式記入をしてください)</p> <p>200011 - 1001X - 1 (コマハ タロウ) 駒場 太郎</p> <p>1 この写真票は、受験料とともに必ず持参してください。 2 この写真票は、試験時間内に回収します。</p>																			
<p style="text-align: center;">③成績請求票</p>																			

受験票

ア 受験票には、試験場に関する事項のほか、受験教科に関する次表の事項を記載しますので、出願時の登録内容と受験票の記載内容に誤りがないかをよく確認してください。

事 項	記 載 内 容
新教育課程履修者 旧教育課程履修者	あなたが履修した教育課程を表示します。
受験教科名	受験できる教科（登録されている教科）には、受験教科名欄に「○」を表示します（「—」を付した教科を受験することはできません。）。なお、数学は「数学①」と「数学②」を受験すると表示しますので両方のグループを受験することもいずれか一方を受験することも可能です。
登録科目数 (地理歴史、公民、理科②のみ)	「地理歴史、公民」又は「理科②」は、備考欄に受験できる科目数を表示します。例えば、「地理歴史、公民」の備考欄に「登録科目数2」という表示があるのは、「地理歴史、公民の中から2科目を受験する」という意味です。試験当日に登録された科目数の変更はできません。
別冊子試験問題	「数学②」又は「外国語」を受験する者で、別冊子試験問題の配付を希望した場合のみ、備考欄に「別冊子配付あり」と表示します。

イ 万一、記載内容に誤りがある場合は、受験票を再発行する必要がありますので、直ちに大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に電話で連絡してください。

ウ 受験票には写真を貼り付け、試験当日、必ず持参してください。

また、受験票は、各大学の個別学力検査等及び入学手続の際にも必要となりますので、試験終了後も大切に保管してください。

写真票

写真票には受験票と同一の写真を貼り付け、試験当日、必ず持参してください。写真票は、最初に受験する試験時間に試験室内で監督者が回収します。

成績請求票

成績請求票は、大学入試センター試験に参加する大学に出願する際、当該大学の出願書類に貼り付けて提出するものです。コピーしたものは使用できませんので必ず受験票に同封されているものを使用してください。下表のとおり、使用区分別に7種類のものがあります。成績請求票を使用する際は、必ず各大学の募集要項等により確認してください。

成 績 請 求 票 の 種 類	枚数	使用区分（出願する大学）
推 薦 国公立推薦入試用	1枚	大学入試センター試験を課す推薦入試を実施する国公立大学（→注1）
A O 国公立AO入試用	1枚	大学入試センター試験を課すAO入試を実施する国公立大学
前 国公立前期日程用	1枚	前期日程で試験を実施する国公立大学（→注2）
後 国公立後期日程用	1枚	後期日程で試験を実施する国公立大学（→注2）
公 中 公立大学中期日程用	1枚	中期日程で試験を実施する公立大学（→注2）
2 募 国公立第2次募集用	1枚	欠員補充第2次募集を実施する国公立大学
私・短 私立大学・公私立短期大学用	18枚	大学入試センター試験に参加する私立大学・公私立短期大学

(注 1) 国公立大学の推薦入試は、大学入試センター試験を課すかどうかにかかわらず、1つの大学・学部にしか出願できません。

(注 2) 国公立大学前・後期日程及び公立大学中期日程は、それぞれ1つの大学・学部にしか出願できません。

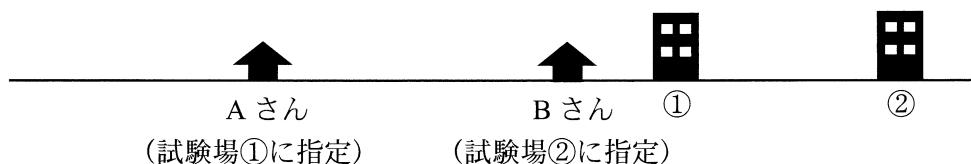
3 試験場の指定

(1) 各志願者の試験場は、原則として都道府県を単位とする次ページの「試験地区区分表」に基づき設定した試験場の中から、大学入試センターが志願者数の分布や使用施設の収容数等を考慮し指定します。指定された試験場は変更できません。

(2) 大学入試センターが指定する試験場は、次表のとおり出願資格によって異なります。

出願資格	指定する試験場	備考
高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を平成27年3月に卒業見込みの者 *ただし、下欄②を除く。	出願時に在学している学校が所在する試験地区内の試験場	「試験地区」は、原則として都道府県を単位とします。 ただし、北海道、岩手県、埼玉県、神奈川県、兵庫県、島根県、鹿児島県、沖縄県については、次ページの「試験地区区分表」で定めるとおりとします。
① 上欄以外の者 ② 高等学校の通信制課程を平成27年3月に卒業見込みの者	志願票に記入された現住所の試験地区内の試験場	

(3) 試験場は、必ずしも各志願者の現住所の最寄りの試験場が指定されるとは限りません。例えば、下の図のような場合、志願者Bさんが最寄りの試験場①ではなく、少し遠い試験場②に指定されることがあります。試験場①でも遠い志願者Aさんが、更に遠くの試験場②に指定されないようするために、このようなことが起こります。



(4) 同じ高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校の卒業見込者は同じ試験場に指定するよう考慮しますが、「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間に受験する科目数の組合せにより、あらかじめ試験室を分けますので、同じ学校の志願者が別々の試験場に指定されることがあります。

なお、重度の障害等で受験上の配慮を申請した志願者についても、同じ学校の志願者とは別の試験場に指定されることがあります。

また、試験場の設備等の関係上男子と女子がそれぞれ別の試験場に指定される場合があります。

(5) 試験場を指定する際に考慮される志願者数の分布等は毎年変化しますので、特定の住所や学校の志願者が、毎年同じ試験場に指定されるとは限りません。例えば、ある学校の志願者が昨年度まで継続してA試験場に指定されていたとしても、今年度はB試験場に指定されることがあります。

(6) 出願後の現住所変更による試験場の変更はできません。

(7) 各志願者の試験場は、受験票に記載して通知します。指定された試験場以外では、受験はできません。

(8) 試験地区区分表（試験地区名）

北海道石狩振興局地区	埼玉県 〔草加市、蕨市、さいたま市の一部（卒業者等）は東京都へ〕	島根県 (鹿足郡は山口県へ)
" 空知総合振興局地区	千葉県	岡山県
" 上川総合振興局・宗谷総合振興局・留萌振興局地区	東京都 〔埼玉県の一部、神奈川県の一部を含む。〕	広島県
" 後志総合振興局地区	神奈川県 〔横浜市鶴見区・青葉区・都筑区、川崎市は東京都へ〕	山口県 (島根県の一部を含む。)
" 檜山振興局・渡島総合振興局地区	新潟県	徳島県
" 胆振総合振興局・日高振興局地区	富山県	香川県
" 十勝総合振興局地区	石川県	愛媛県
" 根室振興局・釧路総合振興局地区	福井県	高知県
" 才ホーツク総合振興局地区	山梨県	福岡県
青森県 (岩手県の一部を含む。)	長野県	佐賀県
岩手県 〔久慈市、九戸郡洋野町・野田村は青森県へ〕	岐阜県	長崎県
宮城県	静岡県	熊本県
秋田県	愛知県	大分県
山形県	三重県	宮崎県
福島県	滋賀県	鹿児島県 〔大島郡和泊町・知名町・与論町は沖縄県那覇地区へ〕
茨城県	京都府	沖縄県那覇地区 〔那覇市、うるま市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、豊見城市、南城市、国頭郡、中頭郡、島尻郡（鹿児島県の一部を含む。）〕
栃木県	大阪府	沖縄県宮古地区 (宮古島市、宮古郡多良間村)
群馬県	兵庫県 (美方郡新温泉町は鳥取県へ)	沖縄県石垣地区 (石垣市、八重山郡)
	奈良県	
	和歌山县	
	鳥取県 (兵庫県の一部を含む。)	

4 出願後の各種手続

(1) 氏名、現住所、電話番号等の変更

次表のとおり、届出内容と時期によって届出に必要な書類が異なりますので、正しい書類に記入した上で、封筒に入れて郵便で大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に届け出てください（封筒の表面に、必ず「住所等変更・訂正届」と朱書すること。）。

届出内容	届出の時期	必要な書類
①氏名、生年 月日の変更・ 訂正 (→注1)	11月21日（金）まで（必着） 11月22日（土）以降 (受験票到着後に届け出てください。)	住所等変更・訂正届（→p.38） 受験票再発行等申請書（→p.39） (申請方法は、(2)に記載しています。)
②現住所・電 話番号の変 更 (→注2)	・3月25日（水）まで（必着）	住所等変更・訂正届（→p.38）

(注1) 氏名、生年月日の変更については、次の点に注意してください。

- ・11月22日（土）以降に氏名、生年月日を変更した場合は、受験票到着後に「受験票再発行等申請書」（→p.39）で届け出てください。

(注2) 現住所の変更については、次の点に注意してください。

- ・市町村合併等による住所表記の変更の場合は、届出の必要はありません。
- ・出願後に、現住所を変更しても、試験場は変更できません（→p.34）。
- ・11月22日（土）以降に「住所等変更・訂正届」が大学入試センターに届いた場合は、受験票の作成・発送作業のため登録内容の修正ができません。受験票は志願票に記入された住所に送付しますので郵便局の転居・転送サービスの手続をしてください。
- ・成績通知を希望しない者については、大学入試センター試験終了後に現住所を変更しても、届出の必要はありません。

(2) 受験票等の再発行、成績請求票の追加発行、過年度成績請求票の発行

これらの発行を希望する場合は、次表のA～Cに従い、必要書類を封筒に入れて、郵便で大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に申請してください（封筒の表面に「受験票再発行等申請」と朱書すること。）。

なお、受験票については、平成27年1月14日（水）～1月25日（日）の間は、再発行業務は行いません。この期間に申請があったものについては、1月26日（月）から志願者本人あてに送付します。

届出内容	届出上の注意事項	必要な書類
A 再発行 受験票・写真票・成績請求票 (平成 27 年 4 月 24 日(金)必着)	<p>次のア～オに該当する場合は、受験票、写真票、成績請求票の全部又は一部を再発行します。</p> <p>ア 受験票等が、12 月 15 日(月)までに届かない場合(不着) イ 氏名に変更があった場合 ウ 記載内容に誤りがあった場合 エ 汚損又は破損した場合 オ 紛失した場合</p> <p>* 再発行した受験票等は、当初発行したものと用紙の色が異なります。</p> <p>* 「現住所・電話番号の変更・誤り」の場合は、再発行申請の必要はありません。現住所変更の届出をしてください(→p.36)。</p> <p>受験票等は再発行すると、最新のもの以外は無効になります。</p> <p>ただし、「国公立 AO 入試用成績請求票」「私立大学・公私立短期大学用成績請求票」は、再発行してもそれまでのものは無効とはなりません。</p>	<p>ア 受験票再発行等申請書 (39 ページをコピーしたものに必要事項を記入する。)</p> <p>* 大学入試センター試験終了後に受験票を再発行申請する場合は、写真欄に写真 1 枚を貼り付け、必ず署名すること。</p> <p>イ 返信用封筒 (長形 3 号：縦 23.5cm ・ 横 12cm、表面に現住所・氏名を記入し、672 円分の切手(簡易書留郵便・速達料金を含む。)を貼る。)</p> <p>* 受験票等が、12 月 15 日(月)までに届かない場合(不着)の再発行申請は、返信用封筒は必要ありません。</p> <p>ウ 当初発行の受験票・写真票・成績請求票 * 申請理由が汚損、破損、記載内容の誤り又は氏名の変更の場合のみ同封すること。</p>
B 追加発行 国公立 AO 入試用及び私立大学・公私立短期大学用成績請求票 (平成 27 年 4 月 24 日(金)必着)	<p>「国公立 AO 入試用成績請求票」「私立大学・公私立短期大学用成績請求票」を当初発行枚数を超えて必要とする場合は、必要な枚数を追加発行します。</p>	<p>ア 受験票再発行等申請書 (39 ページをコピーしたものに必要事項を記入する。)</p> <p>イ 返信用封筒 (長形 3 号：縦 23.5cm ・ 横 12cm、表面に現住所・氏名を記入し、672 円分の切手(簡易書留郵便・速達料金を含む。)を貼る。)</p>
C 過年度成績請求票の発行	<p>大学入試センター試験の過年度(平成 24 年度から平成 26 年度)の成績を利用する大学に志願する者は、当該大学に出願する際に大学入試センターが発行する「過年度成績請求票」を提出する必要があります。</p>	

届け出の際は、このページをコピーして使用してください。

出C
願
後

① 志願者本人の氏名と生年月日を記入してください

フリガナ			
氏名	生年月日	年	月
	<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成		

② 訂正する箇所のみ、訂正後の内容を記入してください

○氏名 羽根田	○生年月日 生年月日 年 月 日						
漢字							

○住所									
新郵便番号	一	二	三	四	五	六	七	八	九
新住所	(フリガナ)								

○電話番号 (変更のある電話番号のみ記入してください)

新電話番号(自宅・下宿・寮)

新電話番号（携帯電話）

◎ 「性別」に登録の誤りがある場合は、直ちに大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で問い合わせてください。

③ 確認はがきのコピーを貼り付けてください

確認はがき貼り付け欄

提出前に確認してください！

登録内容の訂正期限		平成26年11月4日(火)(消印有効)				
高等学校等 コ 一 ド						
フ リ ガ ナ 氏 名						
生 年 月 日				性 別		
連 絡 先 等						
履 修 課 程						
成 績 通 知		受験上の配慮				
イヤホン不適合措置						
登 錄 教 科	国 語					
	地理歴史、公民					
	数 学					
	理 科					
	外 国 語					
別冊子試験問題	数学②			外国語		

氏名にコンピュータで登録できない文字が含まれる場合は、その文字が置き換えられるか、すべてカタカナで表示されますが、登録の誤りではありません。

住所の後半部分(マンション名や「字(あざ)」以降の住所など)はカタカナで表示されますが、登録の誤りではありません。

①「成績通知」「受験上の配慮」「イヤホン不適合措置」は、出願時に申し出た内容を変更することはできません。

②「登録教科」等「別冊子試験問題の有無」を訂正する場合は、11月4日までに、31ページの「登録教科等訂正届」に必要事項を記入して提出してください。

11月22日以降に到着した分については、受験票への印字が間に合いませんので、受験票到着後に手続を行ってください。
受験案内36ページ

平成26年●月●日発行 (00000011-010001-000001)

【訂正届の提出者全員】

「確認はがき」のコピーを貼り付けてください。

大学入試センター試験 受験票再発行等申請書

申請の際は、このページをコピーして使用してください。

出C
願
後

① すべての項目を記入してください

フリガナ				
氏名				

生年月日	年	月	日
<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成			

郵便番号							
------	--	--	--	--	--	--	--

現住所							
-----	--	--	--	--	--	--	--

連絡先電話番号							

高等学校等コード	学校名※

※ 高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校以外の出身者は出願資格を記入してください。

② A~Cのうち、必要事項に☑チェック・記入をしてください

A 再発行

請求理由	<input type="checkbox"/> 不着 <input type="checkbox"/> 紛失 <input type="checkbox"/> 汚損・破損	※「不着」「紛失」以外の理由の場合は、所持している受験票・写真票・成績請求票を同封してください。		
	<input type="checkbox"/> 記載内容の誤り	誤	→	正
	<input type="checkbox"/> 氏名の変更	フリガナ 旧氏名	→	フリガナ 新氏名

発行種別	今まで発行されていたものは無効になります。	
	<input type="checkbox"/> 受験票	
	<input type="checkbox"/> 写真票（試験終了後は、再発行不要です。）	
	<input type="checkbox"/> 成績請求票 国公立推薦入試用	
	<input type="checkbox"/> 成績請求票 国公立前期日程用	
	<input type="checkbox"/> 成績請求票 国公立後期日程用	
	<input type="checkbox"/> 成績請求票 公立大学中期日程用	
今まで発行されていたものは無効なりません。		
<input type="checkbox"/> 成績請求票 国公立AO入試用		
<input type="checkbox"/> 成績請求票 私立大学・公私立短期大学用		

写 真	
写再試 真発驗 と行終 署を了 名申後 が請に 必ず受 要る で場 す合 のは	4 cm × 3 cm 写真の裏に氏名を 記入し、あらかじ めしっかりと おいてください。
署名欄	
必ず署名してください。	

B 成績請求票の追加発行

発行種別 と枚数	<input type="checkbox"/> 国公立AO入試用	□ 枚	<input type="checkbox"/> 私立大学・公私立短期大学用	□ 枚
-------------	-----------------------------------	-----	--	-----

C 過年度成績請求票の発行

センター 試験年度	<input type="checkbox"/> 24年度	<input type="checkbox"/> 25年度	<input type="checkbox"/> 26年度
発行種別	<input type="checkbox"/> 国公立推薦入試用	<input type="checkbox"/> 国公立AO入試用	<input type="checkbox"/> 国公立前期日程用
	<input type="checkbox"/> 国公立後期日程用	<input type="checkbox"/> 公立大学中期日程用	<input type="checkbox"/> 国公立第2次募集用
	<input type="checkbox"/> 私立大学・公私立短期大学用		

5 出願後の不慮の事故等による受験上の配慮

(1) 大学入試センター試験の出願後に不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため受験上の配慮を希望する者には、申請に基づき大学入試センターで審査の上、「受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕」に準じた受験上の配慮を決定します。

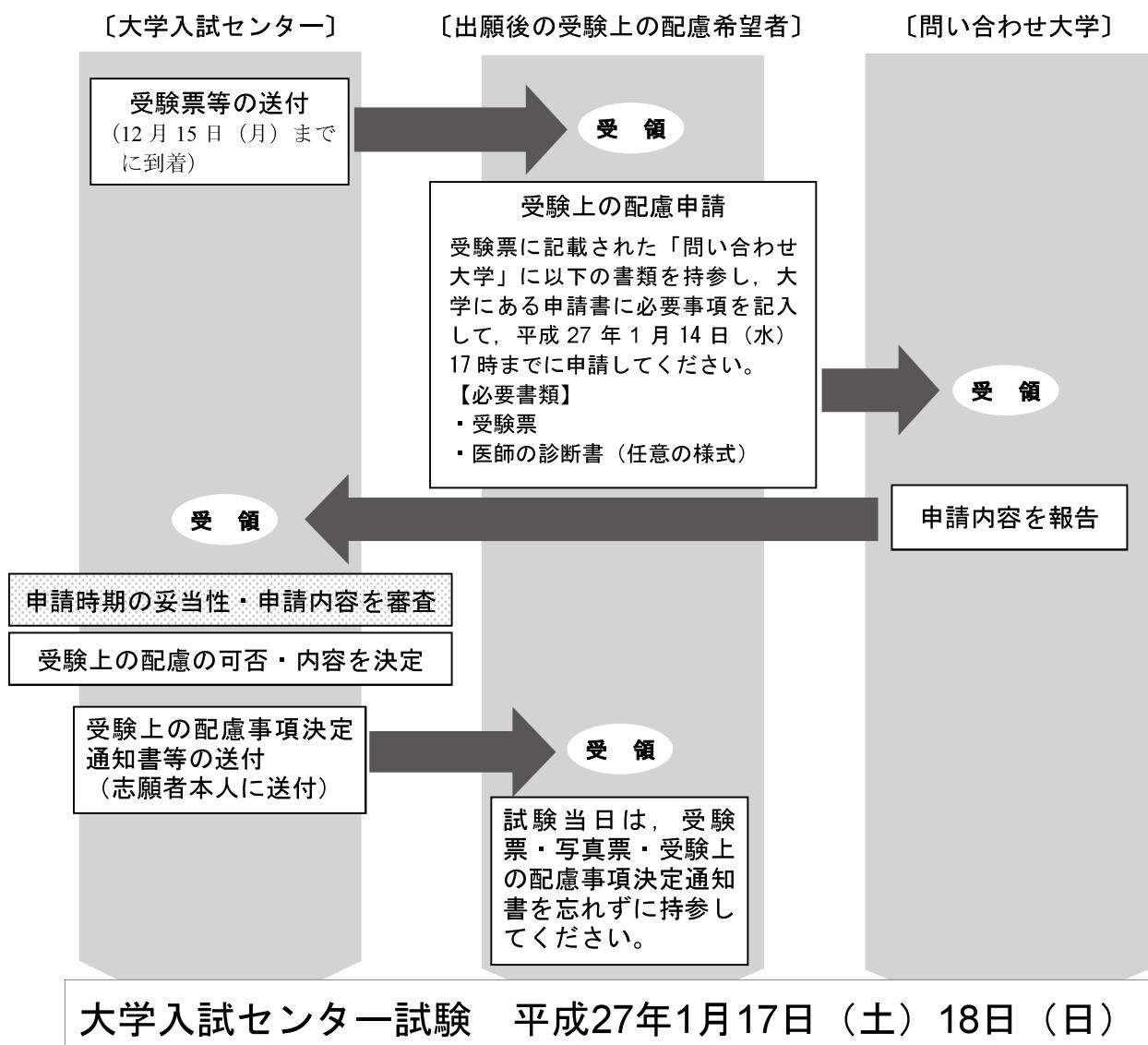
ただし、この配慮は、出願時までに申請すべき内容であった場合には配慮しませんので、申請し忘れないよう、十分に注意してください。

また、申請が試験直前であったり、申請内容への対応が直ちにできないような場合には、希望する配慮が行えないこともあります。

(2) 不慮の事故等のため受験上の配慮を希望する場合は、受験票の「問い合わせ大学」欄に記載された大学に、志願者本人又は代理人がまず電話連絡した上で、平成27年1月14日（水）17時までに「受験票」及び「医師の診断書（任意の様式）」を持参し、申請してください。なお、「医師の診断書（任意の様式）」には、発症等の時期及び大学入試センター試験において希望する受験上の配慮が必要な理由を必ず明記してください。大学入試センターでは、「問い合わせ大学」から回付された書類を審査して、配慮を決定し、志願者に通知します。

なお、障害等の程度や希望する配慮によっては、十分な審査を行うため、大学入試センターから、「医師の診断書（任意の様式）」以外の書類等の提出を求めることがあります。

出
C
願
後



D リスニング

1 リスニングの概要

(1) リスニングを実施する教科・科目

リスニングは外国語「英語」の一領域として実施します。外国語において「英語」を選択する受験者は、原則として、筆記とリスニングの双方を受験してください。

なお、「英語」以外の外国語の筆記を受験した場合、リスニングを受験することはできません（→p.5）。

(2) 試験時間・解答時間

リスニングは、IC プレーヤーを使い受験者が個々に音声を聞き取りながら解答する試験です。試験時間 60 分の中で、解答開始前に IC プレーヤーの操作準備・作動確認・音量調節を受験者各自で行った後、30 分間で解答します（→p.42）。

なお、筆記とリスニングの間には、休憩時間が設けられています。

(3) リスニングにおける受験上の配慮

病気・負傷や障害等のために、リスニングにおいて配慮を希望する者は、受験上の配慮を申請してください（→p.17）。

(4) イヤホン不適合措置

リスニングで使用する IC プレーヤーに付属しているイヤホンが耳に装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置」を申請してください（→p.46）。上記(3)の受験上の配慮とは申請方法が異なるので注意してください。

リスニング

2 リスニング受験上の注意

(1) リスニングでは、遅刻者の試験室への入室限度が他の試験時間と異なります。試験開始時刻（17:10）までに入室していない場合は受験することができないので十分注意してください。

(2) リスニングでは、他の受験者の聞き取りに支障をきたす不必要的音をたてることがないよう注意してください。

(3) IC プレーヤーのボタンを長く押し続けてもランプが光らなかったり音声が流れなかったりした場合や、音声が途中で停止するなど聞き取れなくなった場合、問題冊子の乱丁、落丁等で解答に支障がある場合は、ためらわずに黙って手を高く挙げて、監督者に知らせてください。

なお、試験が終わってから、これらを申し出ることはできません。

(4) 解答時間中の質問は、一切受け付けません。

3 リスニングの進行

(1) リスニングの進行の概要

16:30 外国語（筆記）試験終了

この休憩時間中に

●携帯電話やスマートフォン、時計など音の出る機器のアラーム設定を解除し、機器の電源を切る。

17:05 受験者入室終了

17:10 試験開始 (*この時刻までに必ず入室)

確認はじめ
(監督者指示)

●解答用紙に、受験番号・氏名・試験場コードを記入・マークする。
●監督者の指示に従い、ICプレーヤーの操作準備を行う。

確認音声
(約2分間)

●確認音声（試験問題ではない）を聞いて、ICプレーヤーが正常に動くことを確認し、音量を調節します。

問題音声
(約30分間)

●問題音声の進行に従って、問題を解答します。問題音声は設問ごとに2回流れます。また、1回目の音声と2回目の音声が流れた後にはそれぞれ、解答するために音声が流れない時間があります。
●解答は、必ず設問ごとに解答用紙にマークします。問題冊子に記入しておいて、解答時間の途中や最後にまとめて解答用紙にマークしてはいけません。

18:10 試験終了

●答案回収
●ICプレーヤー・イヤホン・音声メモリー回収

受験者退室

【ICプレーヤーの操作】

1 監督者の指示後、解答用紙裏面のイラスト(→p.43)に従い、「電源ボタン」を「電源ランプ」が緑に光るまで長く押し続ける。

2 監督者の指示後、解答用紙裏面のイラスト(→p.43)に従い、イヤホンを耳につけ、「確認ボタン」を、「作動中ランプ」が赤く光るまで長く押してから、音声を聞きながら音量つまみを回して音量を調節する。

3 音声中の指示でいったんイヤホンを耳から外す。

*音声に不具合等があれば、ためらわずに、黙って手を高く挙げる。(→p.47)

(2) 試験終了後のICプレーヤー等の取扱い

ICプレーヤー、イヤホン及び音声メモリーは、試験終了後に回収します。ただし、問題冊子は持ち帰ってください。なお、問題音声は、試験終了後に大学入試センターのホームページ(→裏表紙)からダウンロードすることができます。

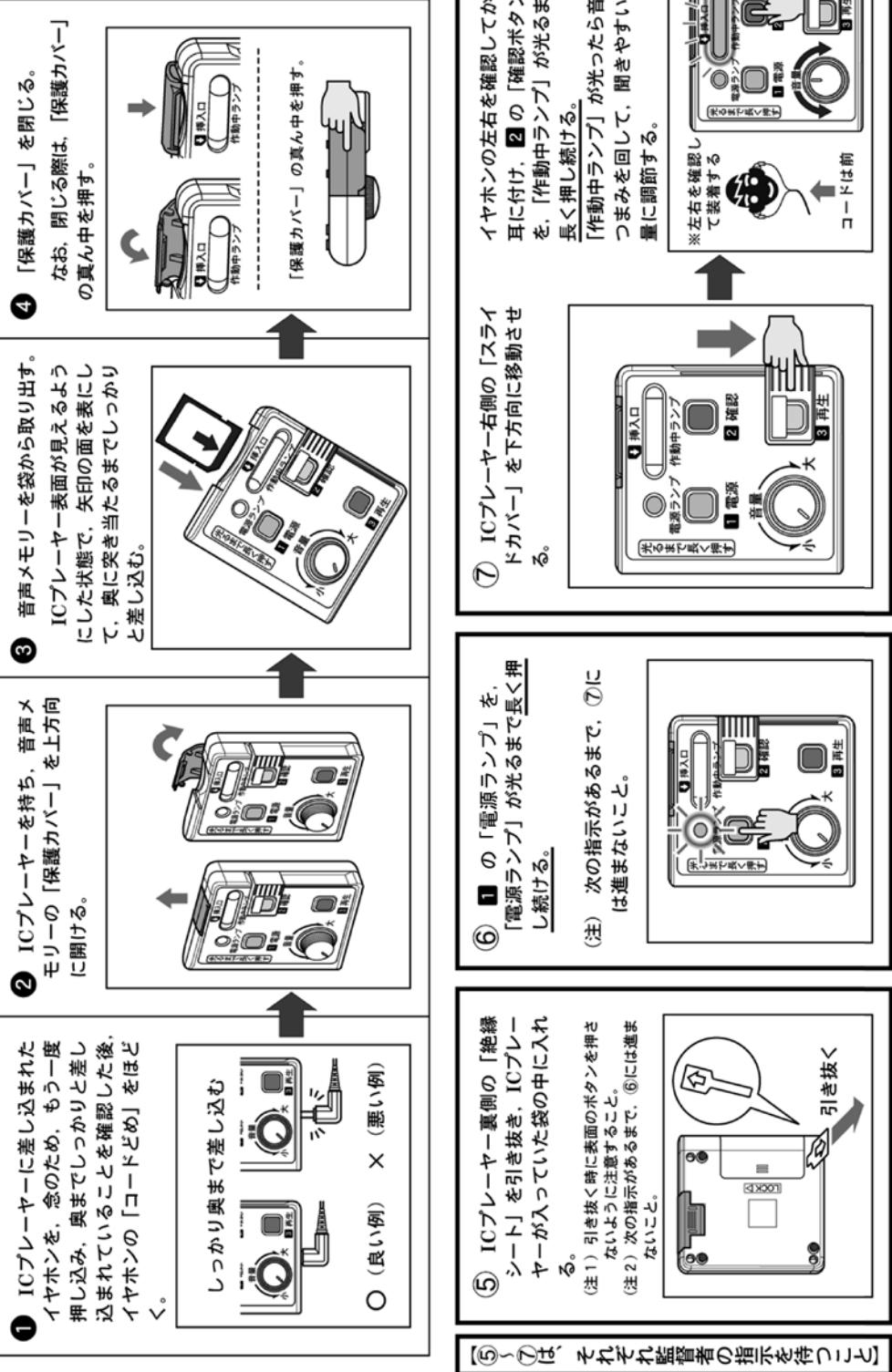
<ICプレーヤーの準備方法>

(1) ICプレーヤーの操作準備

ICプレーヤーの操作準備は、解答用紙裏面及び表面のイラストに従い、①～④を受験者が各自で行います。⑤～⑦及び表面のイラストについては、それぞれ監督者の指示があるまで行なうことができません。

裏面

①～④を各自で行ってください。分からぬことがありますたら、手を挙げて知らせてください。⑤～⑦は指示があるまで行わないでください。



表面

英語（リスニング）解答用紙

マーク例	いい例	悪い例
●	○ ⊗ ○	○ ⊗ ○

① 受験番号を記入し、その下のマーク欄にマークしなさい。



受験番号欄			
千位	百位	十位	一位
-	(0)	(0)	(A)
(1)	(1)	(1)	(B)
(2)	(2)	(2)	(C)
(3)	(3)	(3)	(H)
(4)	(4)	(4)	(K)
(5)	(5)	(5)	(M)
(6)	(6)	(6)	(R)
(7)	(7)	(7)	(U)
(8)	(8)	(8)	(Y)
(9)	(9)	(9)	(Z)
-	-	-	-



② 氏名・フリガナ、試験場コードを記入しなさい。

氏名	フリガナ	試験場コード
		十万 万位 千位 百位 十位 一位



1 訂正は、消しゴムできれいに消し、消しきずを残してはいけません。

2 所定欄以外にはマークしたり、記入したりしてはいけません。

3 汚したり、折りまれたりしてはいけません。

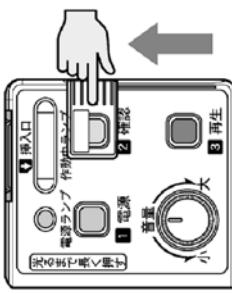
4 音声の停止等のICプレーヤーの不具合や、問題冊子の異常で解答に支障がある場合は、ためらわずに黙って手を高く挙げなさい。監督者が筆談用の用紙を渡しますので、トラブルの内容を記入しないでください。

「解答はじめ」の指示があつたら、次の手順で操作すること。

解答開始時の操作手順

1 イヤホンの左右を確認しながら、耳に付ける。

2 「スライドカバー」を上方向に移動させる。

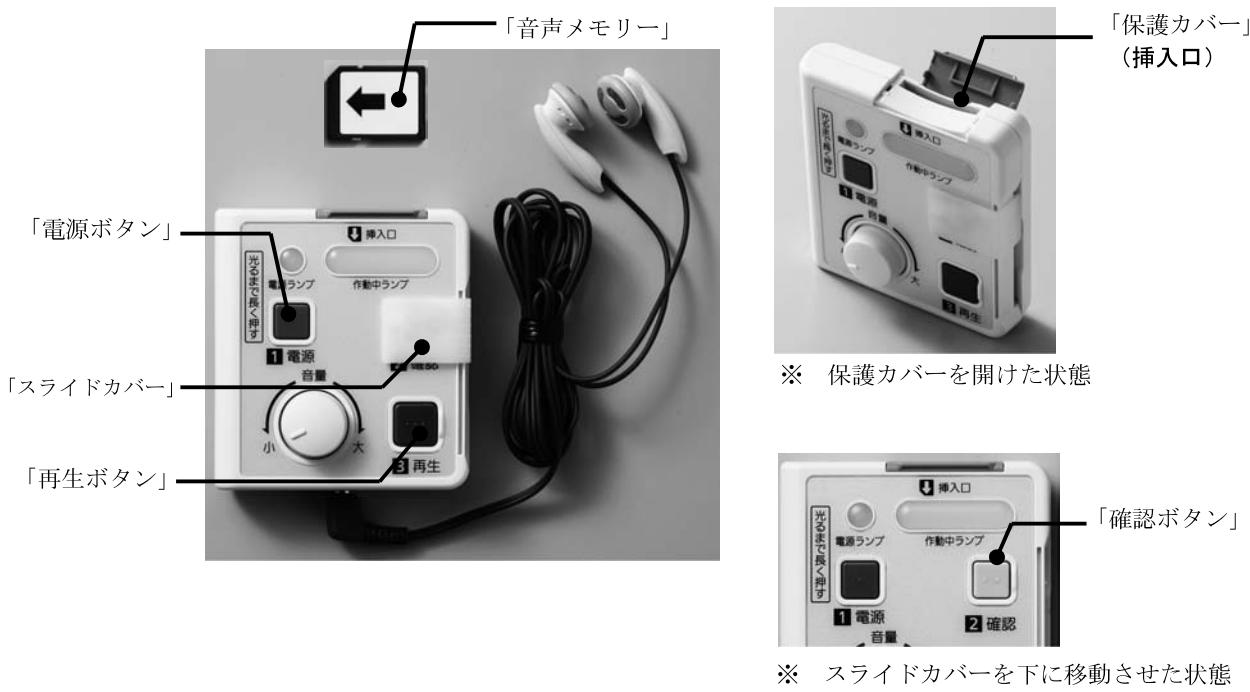


3 「再生ボタン」を「作動中ランプ」が光るまで長く押続ける。

以後は、問題音声の進行に従って、解答しなさい。

(2) ICプレーヤーの操作

【各部の名称】



D
リスニング

【IC プレーヤーの操作】

① 電源を入れる	1 電源ボタンを、電源ボタンの上にある電源ランプが緑に光るまで長く押し続ける。	
② 作動確認 (確認音声再生)	i	スライドカバーを下方向に移動させる。
	ii	2 確認ボタンを、確認ボタンの上にある作動中ランプが赤く光って確認音声が流れるまで長く押し続ける。
③ 音量調節	音量つまみで自分の聞きやすい音量に調整する。(右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなる。) なお、音声が流れている間は、いつでも調節可能です。	
④ 解答開始 (問題音声再生)	i	スライドカバーを上方向に移動させる。
	ii	3 再生ボタンを、作動中ランプが赤く光って問題音声が流れるまで長く押し続ける。

(3) IC プレーヤーの操作の注意点

- ① IC プレーヤーは各ボタンを単にひと押ししただけでは、作動しません。**1**電源ボタンは電源ランプが緑に光るまで、**2**確認ボタンと**3**再生ボタンは作動中ランプが赤く光って、音声が流れるまで、長く押し続けます。
- ② **1**電源ボタン, **2**確認ボタン, **3**再生ボタンの順番を守らない操作は受け付けません。

- ③ 各ボタンを押した後に音声メモリーを引き抜くと、再び音声を再生することができません。
音声メモリーを差し込み、保護カバーを閉じた後は、保護カバーを開けないでください。
- ④ IC プレーヤーには「一時停止」、「早送り」、「巻き戻し」の機能はありません。

5 IC プレーヤーの操作体験

大学入試センターのホームページ（→裏表紙）にある「IC プレーヤー操作ガイド」では、IC プレーヤーの操作を体験することができます。IC プレーヤーの 3 つのボタンの長押しの方法や操作上の注意事項、リスニングの流れが分かるようになっています。

また、これまでの試験で実際に使用された問題音声を聞くことができます。

6 イヤホンが装着できない場合

(1) イヤホン不適合措置について

試験で使用するイヤホンが耳に装着できない者には、試験時間中にヘッドホンを貸与します。
ヘッドホンの貸与を希望する場合は、出願時に申請する必要があります。

(2) イヤホンの装着具合の確認

あらかじめ、在学する（又は出身）高等学校等や最寄りの大学入試センター試験参加大学で実際にイヤホンを装着できるかどうかを確認し、イヤホンが耳に装着できない場合は、必ず出願時にイヤホン不適合措置を申請してください。

(3) 申請方法

イヤホン不適合措置を希望する志願者は、出願時に「イヤホン不適合措置申請書」を提出する必要があります。次の枠内の①又は②の方法により申請書を入手し、最寄りの大学入試センター試験に参加する大学（大学入試センターのホームページ（→裏表紙）に掲載しています。）の入試担当窓口に志願者本人が出向き確認の署名をしてもらった後、志願票（第Ⅱ面）の所定の欄（→p.22）にはり付けて出願してください。

詳しい申請書の記入方法や申請方法は「イヤホン不適合措置申請書」に記載しております。

なお、離島に居住している等の理由で、最寄りの大学入試センター試験に参加する大学で確認の署名をしてもらうことが困難な場合は、平成 26 年 9 月 26 日（金）までに大学入試センター事業第 1 課（→裏表紙）に相談してください（出願期間は志願者問い合わせ専用電話が混み合いますので、早めに相談してください。）。

- ① 大学入試センターのホームページ（→裏表紙）の「英語リスニングについて」からダウンロードしてください。
- ② ホームページからダウンロードできない場合は、次のア・イを封筒（表面に「イヤホン不適合措置申請書請求」と朱書すること。）に入れて大学入試センター事業第 1 課（→裏表紙）に送付してください。
 - ア 氏名、現住所、電話番号、在学（又は出身）学校名を記入した便せん等
 - イ 返信用封筒（長形 3 号：縦 23.5cm・横 12cm、表面に現住所・氏名を記入し、82 円分（速達希望の場合は 362 円分）の切手をはる。）

(4) 注意事項

出願時にイヤホン不適合措置の申請がない場合は、試験当日にイヤホンが耳に装着できないと申し出ても、ヘッドホンの貸与は行いません。この場合、イヤホンを手で押さえて受験することになります。

なお、出願後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため、イヤホンを装着できなくなった場合は、出願後の不慮の事故等による受験上の配慮（→p.40）によりヘッドホンの貸与を申請することができます。

7 解答時間中の事故等と再開テスト

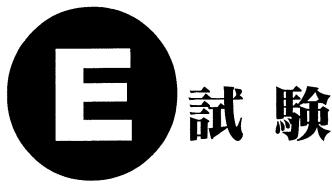
(1) 解答時間中の事故等への対応について

- ① IC プレーヤーの音声が停止する等により聞き取れなくなった場合、または問題冊子の乱丁・落丁等で解答に支障がある場合は、ためらわずに黙って手を高く挙げて、監督者に知らせてください。試験が終わってから、これらを申し出ることはできません。
- ② 解答時間中に挙手した場合の監督者との意思伝達については、周囲の受験者の解答の妨げにならないよう筆談で行います。
- ③ IC プレーヤーの不具合等を申し出た受験者については、申出の内容や再開解答番号（試験が中断した時点で解答していた番号）について確認した上で、試験終了後に「再開テスト」を実施します。
- ④ 体調不良等により退室が必要となる受験者がいる場合は、監督者から周囲の受験者に対し、試験の中止を指示することがありますので、その際は、監督者の指示に従ってください。中断を指示された受験者は「再開テスト」を受験することができますので、試験終了まで静かに待機していてください。

(2) 再開テストについて

解答時間中に、解答が続行できないような不慮の事故等があった場合には、監督者の指示で試験を中断することができます。このようなときには、リスニングの試験終了後、別の IC プレーヤーを使って当初解答していたものと同じ試験問題により、中断した設問から試験を再開します（この試験を「再開テスト」といいます。）。

なお、解答時間中に日常的な生活騒音等が発生し、解答に支障があったと申し出ても、再開テストの対象とはなりません（→p.49）。



1 受験に当たっての主な注意事項

(1) 試験当日の注意事項

- ① 試験場は受験票で指定します。指定された試験場以外では受験できません。
- ② 受験票及び写真票は、試験当日必ず持参してください。
- ③ 受験教科として登録していない教科の試験時間は、試験室に入室できません。万一、登録していない教科を受験しても、その教科は採点されません。
- ④ 試験室に入室してから試験終了までは、退室できません。
- ⑤ 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、リスニングは、試験開始時刻（17:10）までに入室していない場合は受験することができません。
なお、「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2 科目受験する」と登録した場合は、遅刻者の試験室への入室限度（「地理歴史、公民」は 9:50、「理科②」は 15:50）までに入室しないと、後半の第 2 解答科目を含めて、その試験時間は一切受験することができません。
- ⑥ 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2 科目受験する」と登録した場合、試験当日に、1 科目のみの受験に変更する（1 科目だけ取りやめる）ことはできません。同様に、「1 科目受験する」と登録した場合は、試験当日に 2 科目の受験に変更することはできません。
- ⑦ 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2 科目受験する」と登録した場合の試験時間は 130 分です。第 1 解答科目と第 2 解答科目の間の 10 分間は休憩時間ではありませんので、トイレ等で一時退室することはできません。あらかじめトイレ等を済ませてから入室するようにしてください。
- ⑧ 「理科①」については、1 科目のみの受験はできません。
- ⑨ 自動車、バイク等での試験場構内への乗り入れを禁止します。
- ⑩ インフルエンザ等の感染症にかかり治癒していない者は、他の受験者や監督者等に感染するおそれがあるため受験はできません。追試験の受験を申請してください（→p.52）。

(2) 試験時間中の注意事項

① 所持品の扱い

- ア 受験票、写真票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、黒鉛筆（H, F, HB に限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。）、シャープペンシル（メモや計算に使用する場合に限る。）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）、目薬です。これ以外の所持品を使用又は置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。

- イ 「定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）」「コンパス」「電卓」「そろばん」「グラフ用紙」等の補助具や、「電子辞書」「携帯電話」「スマートフォン」「腕時計型端末」「IC レコーダー」等の電子機器類は使用できません。試験時間中に、これらを使用すると不正行為となります。
- ウ 試験時間中に使用すると不正行為となる電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていると不正行為となることがあります。
- エ 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。

② 解答上の注意事項

- ア 解答には、必ず黒鉛筆（H, F, HB に限る。）及びプラスチック製の消しゴムを使用してください。黒鉛筆以外のもの（シャープペンシル等）を使用してマークした場合には、解答が読み取れないことがありますので、使用しないでください。
- イ 解答科目がマークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、解答科目が特定できないため、0点となります。
- ただし、次の事例のように解答科目が特定できる場合は、特定できた科目として採点します。
- (?) 外国語・・・別冊子試験問題を希望していない場合は、別冊子試験問題の科目をマークしても、別冊子試験問題が配付されていないため、「英語」として採点します。
- (1) 数学②・・・別冊子試験問題を希望していない場合は、別冊子試験問題の科目をマークしても、別冊子試験問題が配付されていないため、「数学Ⅱ」又は「数学Ⅱ・数学B」のいずれか1科目をマークしている場合に限り、マークしている「数学Ⅱ」又は「数学Ⅱ・数学B」で採点します。

（注）追試験では、別冊子試験問題の科目の受験を申請している場合、申請科目のみの試験問題が配付されるため、申請科目で採点します。

- ウ 受験番号が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
- エ 解答は、解答用紙の「マーク例」に従って、正しくマークしてください。マークが薄い場合、一部分しかマークしていない場合、訂正箇所を消しゴムできれいに消していない（消し跡が残っている）場合は、解答が正しく読み取れないことがあります。

③ その他の注意事項

- ア 配付された問題冊子は、その試験時間が終了するまで、試験室から持ち出すことはできません。持ち出した場合は、不正行為となります。
- イ 地理歴史、公民においては、地理歴史と公民の2冊の問題冊子が配付されます。試験時間中は2冊の問題冊子を机上に置いてください。
- ウ 試験時間中に監督者が写真票と受験者の顔の確認を行います。「マスク」や「帽子」を着用している場合、本人確認のため、一時的に外すよう監督者が指示することがあります。
- エ 試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、リスニングのイヤホンやヘッドホンからの音もれ、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行いません。
- また、外国語、数学②において別冊子試験問題の配付を希望した場合は、希望した別冊子問題と数学②では「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「旧数学Ⅱ・旧数学B」の問題冊子が、外国語では「英語（筆記）」の問題冊子が配付されます。この場合においても試験時間中は2冊の問題冊子を机上に置いてください。

(3) 不正行為

① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した大学入試センター試験のすべての教科・科目の成績を無効とします。

- ア 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど。）をすること。
- イ カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- カ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- キ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ク 試験時間中に、定規、コンパス、電卓等の補助具を使用すること。
- ケ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

試験

② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

- ア 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ 試験監督者の指示に従わず、ICプレーヤーを操作したりICプレーヤーの故障について虚偽の申出をすること。
- エ ICプレーヤー、イヤホン及び音声メモリーを試験室から持ち帰ること。
- オ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利用するような虚偽の申出をすること。
- カ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- キ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ク その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

(4) 解答用紙の正しいマーク・記入例

(試験場コード 200011, 受験番号 11200 の駒場次郎が「数学 I・数学 A」を解答する場合)

マーク例																																																																							
良い例	悪い例																																																																						
① 受験番号を記入し、その下のマーク欄にマークしなさい。																																																																							
③ • 1科目だけマークしない。 • 解答科目欄が無マーク又は複数マークの場合は、0点となります。																																																																							
④ →																																																																							
<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">解答科目欄</th> </tr> <tr> <td>数学 I ○</td> <td>数学 I ●</td> </tr> <tr> <td>旧課程 I ○</td> <td>旧課程 I ○</td> </tr> <tr> <td>数学 I ○</td> <td>数学 I ○</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">解答科目 チェック欄</td> </tr> </table>		解答科目欄		数学 I ○	数学 I ●	旧課程 I ○	旧課程 I ○	数学 I ○	数学 I ○	解答科目 チェック欄																																																													
解答科目欄																																																																							
数学 I ○	数学 I ●																																																																						
旧課程 I ○	旧課程 I ○																																																																						
数学 I ○	数学 I ○																																																																						
解答科目 チェック欄																																																																							
⑤ ↓																																																																							
<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="5">受験番号欄</th> </tr> <tr> <th>千位</th><th>百位</th><th>十位</th><th>一位</th><th>英字</th> </tr> <tr> <td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>0</td><td>C</td> </tr> <tr> <td>-</td><td>0</td><td>0</td><td>●</td><td>A</td> </tr> <tr> <td>●</td><td>●</td><td>1</td><td>1</td><td>B</td> </tr> <tr> <td>(2)</td><td>(2)</td><td>●</td><td>2</td><td>C</td> </tr> <tr> <td>(3)</td><td>(3)</td><td>3</td><td>3</td><td>H</td> </tr> <tr> <td>(4)</td><td>(4)</td><td>4</td><td>4</td><td>K</td> </tr> <tr> <td>(5)</td><td>(5)</td><td>5</td><td>5</td><td>M</td> </tr> <tr> <td>(6)</td><td>(6)</td><td>6</td><td>6</td><td>R</td> </tr> <tr> <td>(7)</td><td>(7)</td><td>7</td><td>7</td><td>U</td> </tr> <tr> <td>(8)</td><td>(8)</td><td>8</td><td>8</td><td>X</td> </tr> <tr> <td>(9)</td><td>(9)</td><td>9</td><td>9</td><td>Y</td> </tr> <tr> <td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>Z</td> </tr> </table>		受験番号欄					千位	百位	十位	一位	英字	1	1	2	0	C	-	0	0	●	A	●	●	1	1	B	(2)	(2)	●	2	C	(3)	(3)	3	3	H	(4)	(4)	4	4	K	(5)	(5)	5	5	M	(6)	(6)	6	6	R	(7)	(7)	7	7	U	(8)	(8)	8	8	X	(9)	(9)	9	9	Y	-	-	-	-	Z
受験番号欄																																																																							
千位	百位	十位	一位	英字																																																																			
1	1	2	0	C																																																																			
-	0	0	●	A																																																																			
●	●	1	1	B																																																																			
(2)	(2)	●	2	C																																																																			
(3)	(3)	3	3	H																																																																			
(4)	(4)	4	4	K																																																																			
(5)	(5)	5	5	M																																																																			
(6)	(6)	6	6	R																																																																			
(7)	(7)	7	7	U																																																																			
(8)	(8)	8	8	X																																																																			
(9)	(9)	9	9	Y																																																																			
-	-	-	-	Z																																																																			
⑥ 受験番号マーク チェック欄																																																																							
⑦ 氏名・フリガナ、試験場コード を記入しなさい。																																																																							
⑧ ↓																																																																							
<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>フリガナ</td> <td colspan="6">コ マ バ ジ ロ ウ</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td colspan="6">駒場次郎</td> </tr> <tr> <td>試験場 コード</td> <td>十万位</td><td>万位</td><td>千位</td><td>百位</td><td>十位</td><td>一位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td> </tr> </table>		フリガナ	コ マ バ ジ ロ ウ						氏名	駒場次郎						試験場 コード	十万位	万位	千位	百位	十位	一位		2	0	0	0	1	1																																										
フリガナ	コ マ バ ジ ロ ウ																																																																						
氏名	駒場次郎																																																																						
試験場 コード	十万位	万位	千位	百位	十位	一位																																																																	
	2	0	0	0	1	1																																																																	
⑨ 氏名等 チェック欄																																																																							

試験

2 追試験及び再試験

(1) 追試験の実施

- ① 追試験の対象者
 - ア 病気（インフルエンザ・風邪等を含む。）・負傷により試験を受験できない者
 - イ 試験場に向かう途中の事故により試験を受験できない者
 - ウ その他やむを得ない事由（両親等の危篤・自宅の火災等）により試験を受験できない者
- ② 実施期日は、平成27年1月24日（土）、25日（日）です。ただし、(2)の再試験をこの期日より後に実施する必要が生じた場合は、再試験と同一の期日に実施します。
- ③ 出題教科・科目及び試験時間等は、5ページのとおりです。
- ④ 追試験の試験場は、全国を2地区に分け地区ごとに1か所設定します。
なお、地区別の試験場は、受験票等を送付する際に同封する「受験上の注意」に明示します。
- ⑤ 追試験の受験申請方法等の詳細については、「受験上の注意」に明示します。
- ⑥ この追試験についての再試験及び追試験はありません。

(2) 再試験の実施

- ① 再試験は、雪・地震等による災害、試験実施上の事故、その他の事情により、本試験が所定の期日に実施できないか又は完了しなかった場合のみ実施します。
- ② 再試験の実施期日は、平成27年1月24日（土）、25日（日）とし、当日の実施が不可能な場合は、この期日より後にできるだけ速やかに実施します。
- ③ 再試験は、原則として所定の期日までに受験希望を申し出た場合に許可します。
- ④ 再試験についての再試験及び追試験はありません。



試験実施後

1 正解・平均点等の発表

(1) 正解等の発表

大学入試センター試験の本試験、追試験・再試験の正解及び配点については、各日の全試験終了後に、その日行われた科目を大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で発表します。

(2) 平均点等の発表

大学入試センター試験の平均点等については、平成27年1月21日（水）に中間発表を、2月5日（木）に最終発表を、大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で行う予定です。

2 得点の調整

(1) 得点調整について

大学入試センター試験の本試験において次の各科目間で、原則として、20点以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、得点調整を行います。

ただし、受験者数が1万人未満の科目は得点調整の対象としません。

- ① 地理歴史の「世界史B」「日本史B」「地理B」の間
- ② 公民の「現代社会」「倫理」「政治・経済」の間
- ③ 数学①の「数学I・数学A」と「旧数学I・旧数学A」の間
- ④ 数学②の「数学II・数学B」と「旧数学II・旧数学B」の間
- ⑤ 理科②の「物理」「化学」「生物」「地学」「物理I」「化学I」「生物I」「地学I」の間

(2) 得点調整実施の有無の発表

得点調整の実施の有無については、平成27年1月23日（金）（予定）に発表し、得点調整を行う場合は、対象となる科目の得点の換算表を大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で公表します。

(3) 得点調整の方法

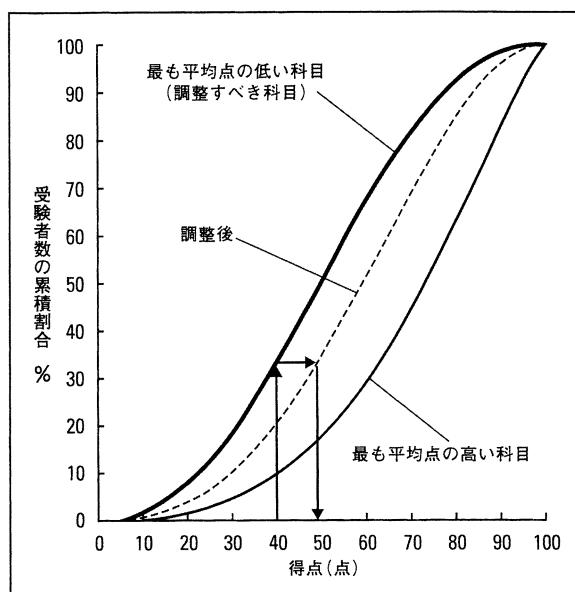
- ① 得点調整は、(1)の①～⑤のグループごとに、「分位点差縮小法」*という方式を用いて行います。
- ② 得点調整に当たっては、対象となる受験者と対象とならない受験者間での公平性の観点から、平均点差のすべてを調整するのではなく、調整後も平均点差が15点（通常起こり得る平均点の変動範囲）となるようにします。

得点の累積分布図

* 「分位点差縮小法」とは、得点調整の対象となる科目のうち、最も平均点の高い科目と最も平均点の低い科目の得点の累積分布を比較し、図の縦軸の受験者数の累積割合（%）が等しい点（等分位点）の差（分位点差）を、一定の比率で縮小する方式です。

また、平均点が最大及び最小以外の科目についても、素点の平均点差が同一の比率で縮小されるよう調整します。縮小の比率は、 $15 \text{ 点} \div (\text{最も平均点の高い科目の平均点} - \text{最も平均点の低い科目の平均点})$ とします。

この方式により、最も平均点の低い科目の得点の累積分布は、図中の点線で描かれた分布に移動することとなります。この点線の分布が調整後の得点の累積分布となり、横軸上の素点から矢印に沿って進み、再び横軸に戻った点が調整後の得点となります。



3 試験成績の大学への提供方法

- (1) 大学入試センターは、大学入試センター試験に参加する各大学からの請求に基づき、当該大学の入学志願者の教科・科目の試験成績を、請求した各大学に対して提供します。各大学の教科・科目の指定については、大学入試センター試験出願前までに、各大学の募集要項等で確認してください。
- (2) 「国語」の特定分野を利用する大学へは、「国語」の得点とは別に出題分野別（「近代以降の文章」「古典（古文、漢文）」）の得点も提供します。
- (3) 地理歴史と公民又は理科②において 2 科目を受験した場合は、大学からの請求に基づき「第 1 解答科目、第 2 解答科目別の得点及びその合計点」又は「第 1 解答科目の得点」のいずれかを提供します。なお、大学が 1 科目のみの得点を利用する場合には、第 1 解答科目の得点を優先して利用することがありますので、必ず、志望大学の募集要項等で確認してください。
- (4) 理科①の成績については、選択した科目別の得点及びその合計点を提供します。
- (5) 英語の成績については、筆記、リスニング別の得点を提供します。
- (6) 大学入試センター試験に参加する各大学の教科・科目の指定と、指定された教科・科目数を超えて受験した場合の大学への成績提供を例示すると、次表のとおりです。

志願者に対する大学の指定	大学入試センターから大学への成績提供
国語、外国語の 2 教科から 1 教科選択	当該大学の志願者が国語、外国語を受験していれば、この 2 教科の得点
「物理」「化学」「生物」「地学」の 4 科目から 1 科目選択	当該大学の志願者が第 1 解答科目として「物理」を、第 2 解答科目として「化学」を受験していれば、大学からの請求に基づき、この 2 科目の得点とその合計点、又は第 1 解答科目の「物理」の得点のいずれか

G その他

1 過年度の大学入試センター試験の成績を利用する選抜

大学入試センター試験に参加する大学では大学入試センター試験の過年度（過去3年前まで）の成績を当該年度の入学者選抜に利用することができます。

過年度成績の利用については各大学の募集要項等で確認してください。

(1) 大学入試センター試験の「過年度成績請求票」について

大学入試センター試験の過年度（平成24年度～平成26年度）の成績を利用する大学に志願する者は、当該大学に出願する際に大学入試センターが発行する「過年度成績請求票」を提出する必要がありますので、手続方法（→p.36）に従って、大学入試センターに申請してください。

また、該当する年度の「大学入試センター試験受験票」も必要となりますので、紛失して手元にない場合は、志望する大学に問い合わせてください。

(2) その他の注意事項

平成28年度以降の大学入学者選抜において、平成27年度の大学入試センター試験の成績を利用する大学へ出願する際には、「平成27年度大学入試センター試験受験票」が必要となりますので、大切に保管しておいてください。

2 志望大学に確認すること

大学入試センター試験の志願者が志望する大学に確認すべき主な事項は、次のとおりです。各大学の募集要項等で確認してください。

(1) 志望大学が大学入試センター試験で志願者に解答させる教科・科目

大学入試センター試験に参加する各大学は、大学入試センター試験の出題教科・科目の中から、入学志願者に解答させる教科・科目及びその利用方法を定めています。志望する各大学の募集要項などをよく読んで確認の上、大学入試センター試験の出願をしてください。

そ
の
他

(2) 志望大学へ出願する際に提出する「成績請求票」の種類等（→p.32）

(3) 志望大学を受験する際の「大学入試センター試験受験票」の取扱い（→p.32）

(4) 障害等のある志願者の志望大学との事前相談（→p.18）

3 個人情報の取り扱い

- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「独立行政法人大学入試センター保有個人情報の適切な管理のための措置に関する規則」に基づいて適切に取り扱います。
- (2) 大学入試センターは、志願票に記載された氏名、住所その他の個人情報を、大学入試センター試験の実施（出願処理、試験実施）及びこれに付随する業務を行うために使用します。
- (3) 大学入試センターは、志願者が個別学力検査等に出願した大学入試センター試験に参加する大学（以下、「各大学」という。）に対して、当該志願者の大学入試センター試験の成績、受験状況及び志願票に記載された個人情報を直接提供します。
- (4) 大学入試センターは、各志願者の国公立大学への出願状況、合格状況及び入学手続状況を収集し、必要に応じ各國公立大学へ提供します。
- (5) 大学入試センター及び各大学は、個人を特定できないように統計処理した個人情報のデータを、大学入学者選抜及び大学教育の改善のための調査・研究や学術研究の資料として利用することができます。
- (6) 大学入試センターは、上記の各種業務での利用に当たって、一部の業務を大学入試センターより当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。この場合は、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供することがあります。
- (7) 大学入試センターは、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に規定されている場合を除き、志願者本人の同意を得ることなく当該志願者の個人情報を他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。



高等学校等コード表

1 高等学校, 中等教育学校, 特別支援学校, 高等専門学校

(他の出願資格の者→p.74)

高等学校等コード表

高等学校等コード表

水戸高等特別支援	08441H	大田原	東09148A	國立	(特別支援学校)	赤城養護	10442G	宮武鹿	宮	南11242K
水戸特別支援	08453A	小山城	山09118K	<群馬大学教育学部附	10051A	あさひ養護	10454A	藏	野	11193H
水戸ろう	08452C	小山山	南09120A	属特別支援		お太田高等養護	10457E	川	野	11127K
美浦特別支援	08463J	小山北	西09169D	(高等専門学校)		た高崎高等養護	10443E	川	川	11124E
もゆ結城特別支援	08451E	小鹿鹿	桜09119H	<群馬工業高専	10091K	館林高等特別支援	10431A	川	川	11169E
私立	08459A	沼商	南09163E	公立		は榛名高等養護	10456G	工女	工女	11168G
(高等学校)		沼沼	沼09109A	(高等学校)		ふ二葉高等養護	10444C	部	部	11104A
あ愛国学園大学附属竜	08513J	上鳥学	工09111B	あ吾安伊伊伊伊伊	妻10148G	も前みもろわ渡良瀬	10441J	業	業	11145H
ヶ崎		黒黒黒	東09165A	中勢勢勢勢	園10180A	も盲やま	10455J	東	子	11111C
い茨城	08503A	磯	南09176G	崎崎崎	立10178J	もろろわ	10451F	立	東	11203J
茨城キリスト教学園	08502C	磯	川09166K	工興商業	業10120G	もろろわ	10452D	立	立	11106G
岩瀬日本大学	08523F	磯	山09143A	陽明10119C	業10121E	もろろわ	10458C	北	北	11176H
え江戸川学園取手	08515E	磯	館09172D	明10118E	業10121E	もろろわ		業	業	11139C
か鹿島学園	08520A	磯	磯09153H	倉10156H	泉10158D	もろろわ		陵	合	11254C
こし霞ヶ浦	08511B	磯	南09154F	商清	田10122C	もろろわ		東	東	11206C
すせ青洋学園	08525B	野松	羽09149K	木09121K	業10125H	もろろわ		越	越	11215B
こし晃翔洋学園	08522H	野松	木09120J	木09121K	業10165G	もろろわ		越	越	11103B
すせ常総学園	08517A	野根	木09121J	木09123F	業10165G	もろろわ		初	越	11208K
すせ青丘学院つくば	08533C	木木木木木	木09122H	木09123F	業10165G	もろろわ		越	越	11138E
すせ清真学院	08514G	木木木木木	木09122I	須09152K	業10171A	もろろわ		越	越	11109A
すせ聖徳大学附属取手聖	08518K	木木木木木	木09122J	峰09151A	田10171A	もろろわ		西	西	11159H
た徳女子		木木木木木	木09123F	須09152K	田10171A	もろろわ		雁	雁	11224A
た大成女子	08504K	木木木木木	須09152K	峰09151A	田10171A	もろろわ		本	本	11250A
た第一学院(高萩校)	08526A	木木木木木	須09152K	須09152K	田10171A	もろろわ		喜業	喜業	11182B
つつくば開成	08524D	木木木木木	須09152K	峰09151A	田10171A	もろろわ		北	北	11123G
つくば国際大学	08509A	木木木木木	須09152K	須09152K	田10171A	もろろわ		北	北	11144K
つくば国際大学東風	08532E	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		北	北	11262D
つくば秀英	08521K	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		東	東	11124D
土浦日本大学	08510D	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		久	久	11175K
と東豊学園つくば松室	08531G	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		熊	熊	11120B
と東洋大学附属牛久	08512A	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		熊	熊	11121A
み常磐大	08505H	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		熊	熊	11122J
み水戸葵陵	08519H	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		熊	熊	11135A
み水戸啓明	08507D	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		北	北	11261F
め水戸平成学園	08528G	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		西	西	11225K
め茗溪明秀学園日立	08501E	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		東	東	11124D
るネサニス	08527J	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		南	南	11175K
(中等教育学校)		木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		玉	玉	11120B
ち智学館	08530J	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		楊	楊	11189K
つ土浦日本大学	08529E	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		戸	戸	11136J
上記以外の高等学校等	08999A	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		手	手	11226H
栃木県		木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		山	山	11276D
国立		木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		山	山	11142C
(特別支援学校)		木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		木	木	11174A
う宇都宮大学教育学部	09051E	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		和	和	11237C
附属特別支援		木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		農	農	11205E
(高等専門学校)		木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		福	福	11267E
お小山工業高専	09091D	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		加	加	11299F
公立		木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		加	加	11253E
(高等学校)		木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		父	父	11194F
あ足利中央特別支援	09457K	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		ヶ	ヶ	1125C
あ足利特別支援	09442A	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		セ	セ	11299F
い今市特別支援	09443K	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		チ	チ	11253E
お岡本特別支援	09441C	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		つ	つ	11287C
こ国分寺特別支援	09459F	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		お	お	11231D
こ木橋特別支援	09454E	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		な	な	11165B
な富屋特別支援	09456A	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		に	に	11166B
な益那須特別支援	09455C	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11297K
なぎわ特別支援	09453G	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11264A
ま益那須特別支援	09458H	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11269A
まみもろ		木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
私立		木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
(高等学校)		木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
あ足利工業大学附属	09510K	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
あ足利短期大学附属	09509F	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
う宇都宮海星女子学院	09505C	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
う宇都宮短期大学附属	09504E	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
こ宇都宮文星女子学院	09503G	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
こ幸福の科学大学	09518E	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
こ国作新野科学大学	09506A	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
さ佐野日本大学	09501A	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
せ佐野日本大学	09507K	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
な青藍日本大学	09513D	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
な白鷗日本大学	09515A	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
なは白鷗日本大学	09511H	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
ひふ文星芸術大学附属	09502J	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
や矢板中	09512F	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
(中等教育学校)		木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
さ佐野日本大学	09517G	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
上記以外の高等学校等	09999G	木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K
群馬県		木木木木木	須09152K	峰09150C	田10171A	もろろわ		は	は	11273K

H 高等学校 等コード表

松阪商業	業 24128 J	河北大津	瀬 25143 H	き 京都教育大学附属特 26051 H	(高等学校)		
みえ夢学園	園 24123 H	草津	津 25148 J	別支援			
よ南伊勢	勢 24165 C	甲子	津 25124 A	(高等専門学校)			
よ四日市工	市 24105 K	国際	東 25141 A	ま 舞鶴工業高専 26091 G			
よ四日市工	業 24109 B	南	西 25146 B	公 立			
よ四日市工	業 24111 D	農	南 25130 F	(高等学校)			
よ四日市工	業 24110 F	農	報 25149 G	あ 網綾田	野 26132 H		
よ四日市工	業 24107 F	農	業 25142 K	鴨	部 26122 A		
よ四日市工	芸 24108 D	農	樂 25131 D	大	沂 26102 F		
よ四日市工	南 24106 H	農	田 25109 H	乙	江 26127 A		
よ四日市工	四郷 24159 J	農	業 25108 K	か	訓 26110 G		
(特別支援学校)							
い稲葉特別支援	援 24454 G	北	所 25101 B	か	洋 26129 H		
くわな特別支援	援 24431 H	長	島 25138 A	桂	26107 G		
し山特別支援	援 24453 J	長	川 25144 F	亀	岡 26119 A		
す杉の子特別支援	援 24457 A	長	姫 25136 E	加	谷 26130 A		
と特別支援学校伊賀つ	24461 K	長	浜 25115 B	悦	田 26118 B		
はさ学園		長	北 25116 A	柔	峨 26108 E		
特別支援学校玉城わ	24460 A	長	業 25117 J	嵯	津 26117 D		
かば学園		長	星 25118 G	き	る 26155 G		
特別支援学校西日野	24455 E	能	川 25133 A	幡	樂 26157 C		
にじ学園		八	幡 25119 E	京	幡 26158 A		
特別支援学校東紀州	24442 C	八	業 25120 J	京	浜 26133 F		
くろしお学園		八	業 25121 G	京	山 26147 F		
特別支援学校北勢き	24441 E	八	津 25104 G	京	業 26124 G		
らら学園		八	業 25113 F	京	陽 26111 E		
み緑ヶ丘特別支援	援 24458 K	八	陽 25114 D	京	京 26138 G		
も盲	24451 B	八	西 25112 H	京	野 26106 J		
ろろう	う 24452 A	八	東 25111 K	京	野 26121 B		
わ度会特別支援	援 24456 C	八	野 25132 B	守	知 26159 K		
私立							
(高等学校)							
あ愛農學園農業	業 24512 H	米	原 25135 G	み	ノートルダム女学院 26523 D		
晩	24501 B	水	口 25128 D	花	園 26506 D		
い伊勢學園	24509 H	水	東 25129 B	ひ	創 26507 B		
うウイツツ青山學園	24521 G	守	山 25125 K	福	美 26534 K		
え英心	24519 E	守	北 25145 D	福	26530 G		
おか橋學園	24517 L	山	洲 25127 F	同	志社国女 26505 F		
か海法津田學園	24515 B	日	市 25122 E	同	志社国女 26536 F		
こ皇學館	24510 A	日	南 25123 C	同	志社国女 26521 H		
す鉛	24504 G	市	東 25126 H	日	星 26533 A		
せセントヨゼフ女子学	24506 C			に	の		
園				日	ノートルダム女学院 26523 D		
た高	田 24505 E			さ	花 27113 G		
と徳	風 24518 G			こ	島 27114 E		
に日	生學園第一			と	田 27259 A		
日生學園第二	24514 D			北	津 27144 G		
み三	重 24507 A			北	形 27300 H		
めメリノール女子学院	24503 J			北	丘 27273 G		
よ代	木 24520 J			北	剛 27269 J		
(特別支援学校)							
せ聖母の家学園	24951 D			ラ	27302 B		
(高等専門学校)							
き近畿大学工業高専	24991 C			洛	上 27290 G		
上記以外の高等学校等	24999 J			洛	科 27312 A		
滋賀県							
国立							
(特別支援学校)							
し滋賀大学教育学部附	25051 B			私	野 27221 D		
属特別支援				立	條 27184 F		
公立							
(高等学校)							
あ綾ECC学園	羽 25506 J			(高等学校)			
いお近江兄弟	園 25511 E			お	大阪教育大学附属池 27002 E		
こ光	江 25503 D			田	大阪教育大学附属天 27001 G		
し滋賀学園	社 25504 B			王	大阪教育大学附属平 27003 C		
た安	泉 25508 E			寺			
い石	幸福の科学学園			大	(特別支援学校)		
え伊	関西 25513 A			阪	大阪教育大学附属特 27051 C		
お大	滋賀 25507 G			府	水 27233 H		
か大	館 25509 C			東	城 27314 H		
か堅	滋賀短期大学附			工	美 27302 D		
	属 25501 H			田	津 27124 B		
	ひ比根觀音			吉	北 27176 E		
	彦根綜合			商	陽 27173 A		
	り立命館守			青	里 27119 F		
	山 25502 F			雲	雲 27319 J		
	25510 G			正	27253 B		
	25510 C			高	石 27211 G		
	25140 C			第	北 27207 J		
				中	芸 27249 D		
(中等教育学校)							
みM I H O 美学院	25512 C			ち	央 27294 K		
上記以外の高等学校等	25999 D			つ	木 27301 F		
京都府							
国立							
(高等学校)							
き京都教育大学附属	26001 A			(高等学校)			
(特別支援学校)							

西はりま特別支援	28441G	和	32116J
のじぎく特別支援	28446H	大	東 32107K
は播磨特別支援	28455G	津 32131B	
阪神昆陽特別支援	28433F	遍 32118E	
阪神特別支援	28453A	浜 32124K	
ひ氷上特別支援	28474C	平 32125H	
東はりま特別支援	28444A	益 32126F	
姫路しらさぎ特別支援	28434D	田 32111H	
姫路聴覚特別支援	28454J	田 32127D	
姫路特別支援	28468J	江 32138K	
も盲(市立)	28457C	松 32102J	
ゆゆき生支援	28458A	松 32104E	
わ和田山特別支援	28484A	松 32106A	
(高等専門学校)		松 32135E	
こ神戸市立工業高専	28491C	松 32104E	
私立		松 32136C	
(高等学校)		松 32103G	
あ相生学院	28554E	松 32109F	
い愛徳学園	28522G	松 32121E	
い育芦屋学園	28536G	松 32101A	
い生野学園	28551A	松 32108H	
えA I E国際	28555C	松 32130D	
お小林聖心女子学院	28525A	(特別支援学校)	
か関西学院高等部	28528F	い出石見岐津	
き近畿大学附属豊岡	28547B	おこは雲見	
け啓明学院	28509K	ま雲見	
賢明女子学院	28543K	ま隱江	
こ甲子園学院	28533B	ま益江	
甲南女子学院	28501D	益江	
甲南女子学院	28502B	益江	
神戸星子女学院	28505G	益江	
神戸学院大学附属	28513H	益江	
神戸弘陵学院	28548A	益江	
神戸国際	28552J	益江	
神戸国際大学附属	28523E	益江	
神戸女学院高等部	28529D	益江	
神戸星城	28516B	益江	
神戸第一	28508A	益江	
神戸常盤女子	28515D	益江	
神戸野田	28517A	益江	
神戸村野工業	28514F	益江	
神戸山手女学院	28511A	益江	
神戸龍谷学院	28507C	益江	
神甲陽田学院	28534A	益江	
さ三三鳳川学園	28537E	益江	
し松港学園	28538C	益江	
すそた親園	28544I	益江	
た滝川第一	28550B	益江	
と第一学院(養父校)	28553G	益江	
な東洋大学附属姫路	28545F	益江	
に仁川学院	28503A	益江	
は白日ノ本学園	28531F	益江	
ひ日本丘学園	28549J	益江	
上記以外の高等学校等	28999A	益江	
奈良県	(中等教育学校)	益江	
國立	せ聖心学園	益江	
上記以外の高等学校等	29999F	益江	
和歌山県	(中等教育学校)	益江	
國立	な奈良女子大学附属	益江	
(高等専門学校)	な奈良工業高専	益江	
公立	(高等学校)	益江	
い生	駒29104J	益江	
う畠	条29131F	益江	
お王	傍29112K	益江	
寺工宇	業29118J	益江	
か檜	陀29117A	益江	
香	淀29125A	益江	
こ郡	原29113H	益江	
五御	芝29137E	益江	
所実	山29108A	益江	
さ桜	條29128F	益江	
し磯	業29115C	益江	
城昇	井29115D	益江	
き櫻	野29152J	益江	
く紀	陽29149J	益江	
き貴	翔29124C	益江	
き青	陵29148A	益江	
そ添	上29109K	益江	
た高	田29120A	益江	
た高	業29132D	益江	
か高	田29143K	益江	
か高	田29138C	益江	
と十	円29129D	益江	
登美	丘29147B	益江	
な奈	な29103A	益江	
奈良	良29103A	益江	
奈良	北29150B	益江	
奈良	青29153G	益江	
奈良	雀29156A	益江	
に二	堂29130H	益江	
西階	京29133B	益江	
のの	城29136G	益江	
へ平	と29151A	益江	
ほ法	那29154E	益江	
隆	大29157K	益江	
寺	辺29110C	益江	
國	野29135J	益江	
(特別支援学校)		益江	
あ明	日香養護	29453F	
お大	淀養護	29456A	
こ高	等養護	29457J	
せ西	和養護	29442A	
な奈	良西養護	29443J	
奈奈	良東養護	29441B	
奈奈	良養護	29458G	
にも	二階堂養護	29459E	
もろ	も29451K		
私立		29452H	
(高等学校)			
あ飛	鳥未	来29520F	
い育	英	西29514A	
か檜	原	院29508G	
関	西	央29507J	
ち智	中	園29509E	
私立			
智辯学園奈良カレッジ高等部		29518D	
テ帝塚山		29502H	
天理教		理29503F	
天理	校	園29512E	
と東	大寺	學園29506A	
な奈	良	英29501K	
奈良	良	學園29513C	
奈良	良	登美ヶ丘29519B	
奈良	良	女子29504D	
奈良	良	大學附屬29505B	
奈良	良	文化29510J	
に西	大和	學園29515K	
(中等教育学校)			
せ聖心学園		29517F	
上記以外の高等学校等	29999F		
奈良県	(中等教育学校)		
國立	上記以外の高等学校等	29999F	

高等学校
等「コード表

(特別支援学校)

い生の松原特別支援 40474 J
今津特別支援 40478 A
お大牟田特別支援 40477 C
小郡特別支援 40472 B
き企救特別支援 40465 K
北九州高等学園 40481 A
北九州視覚特別支援 40453 F
北九州中央高等学園 40442 A
特別支援
北九州特別支援 40475 G
く久留米特別支援 40467 F
こ小池特別支援 40480 C
古賀特別支援 40432 C
小倉北特別支援 40460 J
小倉南特別支援 40463 C
た田主丸特別支援 40462 E
太宰府特別支援 40434 K
ち筑後特別支援 40468 D
つ築城特別支援 40431 E
の直方養護 40459 E
は博多高等学園 40441 B
ひ東福岡特別支援 40473 A
ふ福岡高等学園 40476 E
福岡高等視覚特別支援 40482 K
援
福岡高等聴覚特別支援 40479 K
福岡中央特別支援 40461 G
福岡特別支援 40458 G
み南福岡特別支援 40471 D
や屋形原特別支援 40443 J
柳河特別支援 40433 A
八幡特別支援 40466 H
八幡西特別支援 40469 B
わ若久特別支援 40470 F

私立

(高等学校)

あアットマーク明蓬館 40567 B
い飯塚 40517 F
お大牟田 40545 A
沖学園 40537 A
折尾愛真 40502 H
き希望が丘 40560 E
九州国際大学付属 40513 C
九州産業大学付属九 40557 E
州
九州産業大学付属九 40534 F
州産業
近畿大学附属福岡 40520 F
仰星学園 40566 D
く久留米学園 40551 F
久留米信愛女学院 40547 H
久留米大学附設 40548 F
け敬愛 40507 J
慶啓高 40505 B
こ高智 40504 D
し真自純上杉精誠 40501 K
こし真自純上杉精誠 40503 F
由ヶ丘 40565 F
智福岡 40529 K
森 40550 H
華女子子 40527 C
誠西南学院 40528 A
西南女子学院 40506 A
た立花 40544 C
第一薬科大学付属 40562 A
ち筑紫女学園 40531 A
筑紫台 40530 C
筑陽学園 40532 K
と東海大学付属第五 40563 K
常磐 40508 G
な中村学園三陽 40564 H
中村学園女子 40533 H
に西日本短期大学附属 40559 A
は博多方 40535 D
ひ筑紫学園 40509 E
東福岡 40538 J

ふ福岡海星女子学院 40558 C
福岡工業大学附属城 40541 J
東岡常葉 40561 C
福岡女子学院 40539 G
福岡第一 40540 A
福岡大学附属大濠 40524 J
福岡大学附属若葉 40525 G
福岡雙葉 40542 G
福岡舞鶴 40543 E
福岡智智 40523 A
福岡智清 40502 C
と東北明館 41508 B
ほり龍陵 41505 H
かわ早谷 41501 E
上記以外の高等学校等 41999 A

(中等教育学校)

りリンデンホールスク 40568 A
ール中高部
上記以外の高等学校等 40999 F

佐賀県

国立

(特別支援学校)

さ佐賀大学文化教育学 41051 K
部附属特別支援

公立

(高等学校)

あ有田工業 41126 E
い伊万里商林 41131 A
う牛嶋 41121 D
か鹿島 41119 G
九鹿唐実業 41136 B
九州産業大学 41127 C
九州産業大学付属九 40534 F
州産業
近畿大学附属福岡 40520 F
仰星学園 40566 D
く久留米学園 40551 F
久留米信愛女学院 40547 H
久留米大学附設 40548 F
け敬愛 40507 J
慶啓高 40505 B
こ高智 40504 D
し真自純上杉精誠 40501 K
こし真自純上杉精誠 40503 F
由ヶ丘 40565 F
智福岡 40529 K
森 40550 H
華女子子 40527 C
誠西南学院 40528 A
西南女子学院 40506 A
た立花 40544 C
第一薬科大学付属 40562 A
ち筑紫女学園 40531 A
筑紫台 40530 C
筑陽学園 40532 K
と東海大学付属第五 40563 K
常磐 40508 G
な中村学園三陽 40564 H
中村学園女子 40533 H
に西日本短期大学附属 40559 A
は博多方 40535 D
ひ筑紫学園 40509 E
東福岡 40538 J

私立
(高等学校)

け敬学 41506 F
こ弘館 41507 D
さ佐賀學園 41504 K
佐賀女子短期大学付 41503 A
属佐賀女子 41502
佐賀清和 41502 C
と東明館 41508 B
ほり龍陵 41505 H
かわ早谷 41509 A

長崎県

国立

(特別支援学校)

な長崎大学教育学部附 42051 E
属特別支援

(高等専門学校)

さ佐世保工業高専 42091 D

公立

(高等学校)

い壱岐商業 42148 A
岐商早農業 42149 K
岐商早農業 42118 E
岐商早農業 42119 H
岐商早農業 42163 E
岐商早農業 42166 K
岐商早農業 42142 B
岐商早農業 42133 C
岐商早農業 42115 E
岐商早農業 42117 A
岐商早農業 42116 C
岐商早農業 42128 G
岐商早農業 42146 E
岐商早農業 42151 A
岐商早農業 42129 E
岐商早農業 42124 D
岐商早農業 42126 A
岐商早農業 42143 A
岐商早農業 42153 B
岐商早農業 42145 G
岐商早農業 42110 D
岐商早農業 42114 A
岐商早農業 41120 F
岐商早農業 41114 A
岐商早農業 41108 G
岐商早農業 41113 H
岐商早農業 41109 E
岐商早農業 41139 G
岐商早農業 41105 B
岐商早農業 41104 D
岐商早農業 41123 A
岐商早農業 41132 K
岐商早農業 41139 G
岐商早農業 41105 B
岐商早農業 41104 D
岐商早農業 41123 A
岐商早農業 41114 A
岐商早農業 41120 F
岐商早農業 41114 A
岐商早農業 41106 A
岐商早農業 41119 B
岐商早農業 41102 H
岐商早農業 41124 J
岐商早農業 41130 C
岐商早農業 41101 K
岐商早農業 41122 B
岐商早農業 41103 F
岐商早農業 41129 K
岐商早農業 41115 K
岐商早農業 41128 A
岐商早農業 41110 J
岐商早農業 41117 F
岐商早農業 41138 J
岐商早農業 41112 E
岐商早農業 41125 G
岐商早農業 41135 D
岐商早農業 41113 C

(特別支援学校)

い伊万里特別支援 41456 F
ううれしの特別支援 41442 F
か唐津特別支援 41441 H
き金立特別支援 41453 A
な中原特別支援 41431 A
は博多方 41451 E
ひ筑紫学園 41454 K
東福岡 40538 J

ほ北松農興 42141 D
北松農興 42138 D
浦館 42137 F
館 42134 A

(特別支援学校)

い諫早特別支援 42453 G
か鶴南特別支援 42458 H
き希望が丘高等特別支援 42457 K
さ桜が丘特別支援 42454 E
さ佐世保特別支援 42456 A
し島原特別支援 42441 C
に虹の原特別支援 42459 F
も盲ろう 42451 A
う 42452 J

私立
(高等学校)

か海活州瓊向海世保島純青精聖創鎮長長長長長長
星42501 A
水42503 G
園42514 B
浦42505 C
陽42516 J
園42512 F
業42519 C
央42518 E
子42507 K
雲42521 E
台42522 C
士42511 H
院42515 A
館42510 K
院42517 G
成42506 A
子42504 E
業42508 H
附42509 F

(特別支援学校)

あ芦天荒大里万里萬里萬里萬里萬里萬里
北草尾津國池磨磨磨磨磨磨
おおきく小菊球磨本かがやきの森
支支支支支支支
援援援援援援援
本本本本本本本
支ろ石原支援
援援援援援
援援援
本本石石
援援援
本本本本本本本
援援援
本本本本本本本
援援援
大橘橋西支
援援援
支支支支支
援援援
代北支
援援援
援援援
援援援

私立

(高等学校)

あ有開菊九熊本學園
明43516 D
新43505 J
子43520 B
院43508 C
く熊本學園
付43514 H
熊本國立
本國立
熊本信愛女
本信愛女
くまもと
中清大
中和清
大院43524 E
院43504 A
院43515 F
岳43509 A
館43513 K
網43502 D
和43519 J
北43522 J
修名43521 A
女子子43510 E
院43506 G
東海大學付屬熊本星43518 A

公立
(高等学校)

あ芦阿天荒牛宇大里萬里萬里萬里萬里萬里
蘇中天草工
草工
業43154 A
尾43109 F
深43148 G
土43129 A
津43119 C
業43131 B
國43123 A
草43164 J
本43114 B
工43115 A
業43116 J
浦43151 G
池43117 G
業43118 E
業43143 F
業43144 D
本43102 J
北43160 F
業43106 A
業43107 K
西43105 C

ひふやる
一文勇
代志
百合志
白百合
志國
学園43507 E
際43523 G
志國
学園43511 C

上記以外の高等学校等 43999 B

大分県
国立

2 高等学校卒業程度認定試験等, 外国の学校等, 文部科学大臣の指定した者, 認定, 在外教育施設, 専修学校の高等課程

51000K	高等学校卒業程度認定試験	高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成 27 年 3 月 31 日までに合格見込みの者
	大学入学資格検定	大学入学資格検定に合格した者
52000E	外国の学校等	外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 27 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
53000A	文部科学大臣の指定した者	海技教育機構（旧海員学校）の本科を卒業した者及び平成 27 年 3 月卒業見込みの者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者等
54000F	認定	大学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 27 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者（学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者）であって、当該者をその後に入学させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
55000A	在外教育施設	文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 27 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
56000G	専修学校の高等課程	専修学校の高等課程を修了した者及び平成 27 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

志望大学の選抜実施日程

大学入試センター試験参加大学の平成 27 年度入学者選抜の主な実施日程は次のとおりです。

(1) 国公立大学

入学者選抜要項発表	【平成 26 年】 7 月 31 日（木）まで
募集要項発表	12 月 15 日（月）まで
推薦入試（大学入試センター試験を課さない場合）の結果発表（実施大学のみ）	【平成 27 年】 1 月 23 日（金）まで
出願期間（前期日程、後期日程、公立大学中期日程への出願）	1 月 26 日（月）から 2 月 4 日（水）まで
第 1 段階選抜（前期日程）、推薦入試（大学入試センター試験を課す場合）、AO 入試の結果発表（実施大学のみ）	2 月 11 日（水）まで
第 1 段階選抜（公立大学中期日程）の結果発表（実施大学のみ）	2 月 20 日（金）まで
国公立大学の前期日程試験実施	2 月 25 日（水）から
第 1 段階選抜（後期日程）の結果発表（実施大学のみ）	2 月 28 日（土）まで
公立大学の中期日程試験実施	3 月 8 日（日）以降
公立大学の前期日程合格発表	3 月 1 日（日）から 3 月 10 日（火）まで
国立大学の前期日程合格発表	3 月 6 日（金）から 3 月 10 日（火）まで
国公立大学の後期日程試験実施	3 月 12 日（木）以降
公立大学の中期日程合格発表	3 月 20 日（金）から 3 月 23 日（月）まで
国公立大学の後期日程合格発表	3 月 20 日（金）から 3 月 24 日（火）まで

（注）選抜実施日程は大学によって上表と異なる場合があるので、必ず各大学の募集要項等で確認してください。

(2) 私立大学・公私立短期大学

大学入試センター試験に参加する私立大学・公私立短期大学の入学者選抜の実施日程については、大学入試センター試験の実施前に出願受付を行う大学や 2 月以降に出願受付を行う大学など様々です。それぞれの実施日程は、各大学の募集要項等で確認してください。

こんなときは？

わからない！	出願資格（証明書類）	→ p. 9
	出願方法	→ p.14
	志願票の記入方法	→ p.20
	検定料等の払込方法	→ p.26
届かない！	確認はがき	→ p.28
	受験票	→ p.32
変更したい！	住所、氏名、電話番号の変更	→ p.36
再発行してほしい！	受験票・成績請求票	→ p.37
追加発行してほしい！	成績請求票（国公立AO入試用、私立大学・公私立短期大学用のみ）	
過年度成績利用大学に出願したい！	過年度成績請求票発行	
高卒認定について知りたい！	文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課認定試験第二係 03-5253-4111 （代）	

受験案内を読んでも分からぬことがある！	→ 大学入試センターホームページをご覧ください。 「センター試験Q&A（よくある質問）」 http://www.dnc.ac.jp/center/faq.html
	モバイルサイトもあります → http://www.dnc.ac.jp/i/

受験案内を読んでも分からぬことがある！	→ ホームページを見ても分からぬ場合は… 志願者問い合わせ専用電話 TEL 03-3465-8600 9:30～17:00（土・日曜、祝日、12月26日～1月5日を除く）

〒153-8501 東京都目黒区駒場2-19-23

独立行政法人 大学入試センター事業第1課

<http://www.dnc.ac.jp/>

非売品